

SDGsの視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編  
小学校

一般財団法人栃木県連合教育会

令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはおりません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また、自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。  
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

回答結果

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

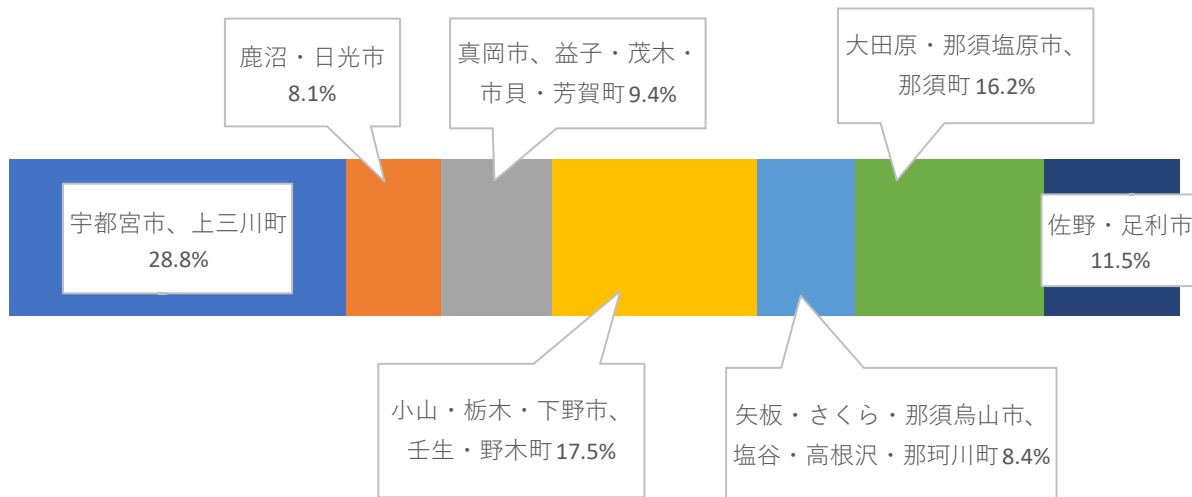
TEL 028-621-7216

Email [kenkyu@tochigi.rk.jp](mailto:kenkyu@tochigi.rk.jp)

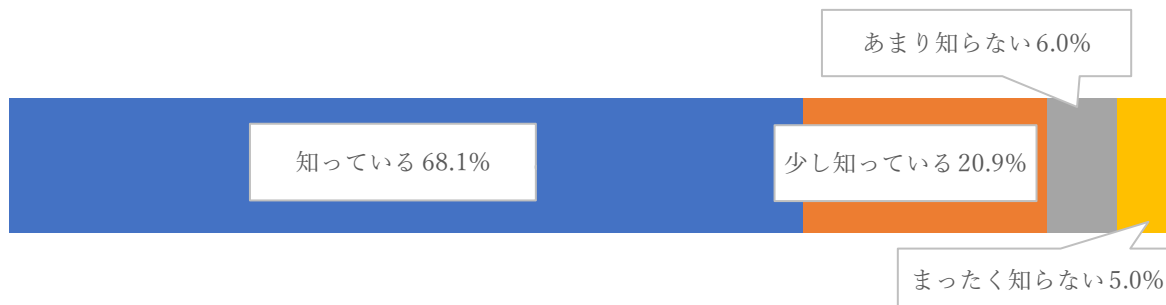
# 小学校 児童 回答

回答児童数 5,397 名

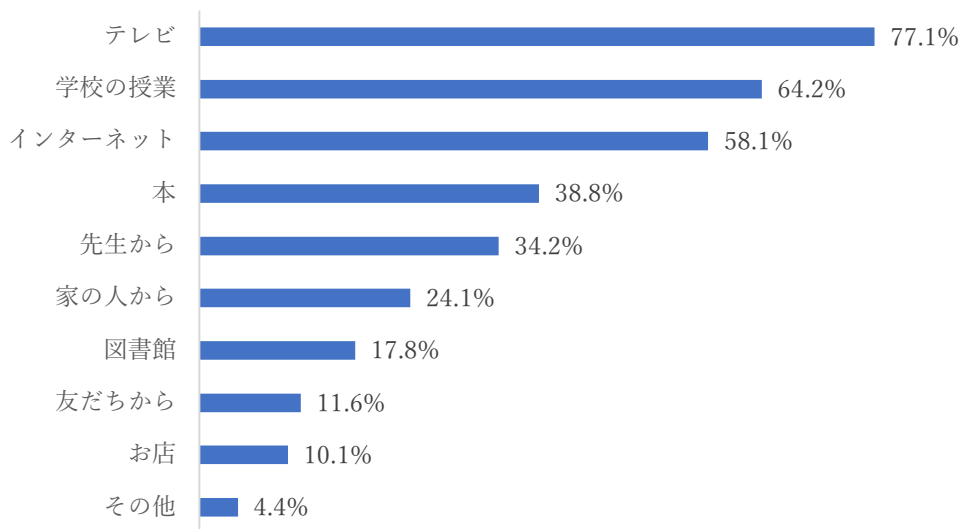
**Q 1** あなたの学校のある市や町はどこですか。



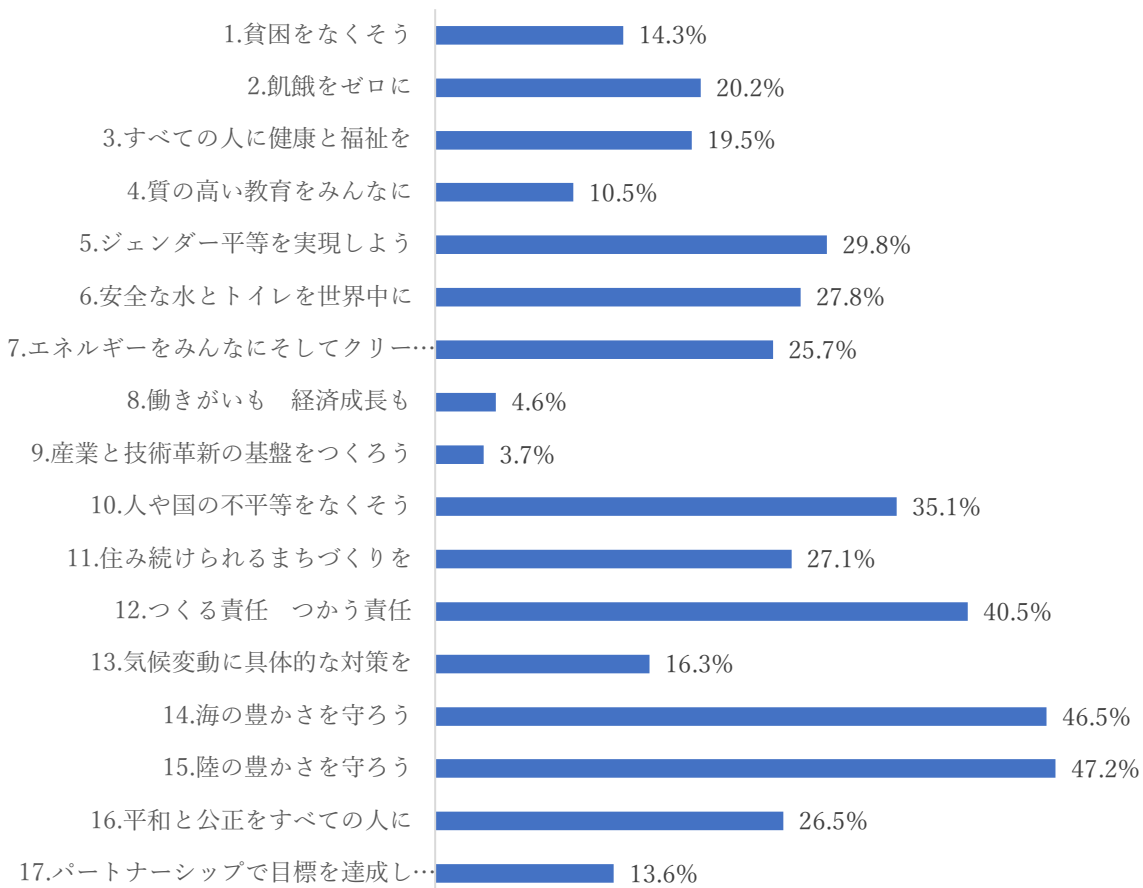
**Q 2** 「SDG s」という言葉を知っていますか。



**Q 3** 「知っている」、「少し知っている」と答えた人にお聞きします。どこでSDGsについて知りましたか？（あてはまるものをすべてチェックしてください）  
 （複数回答可）

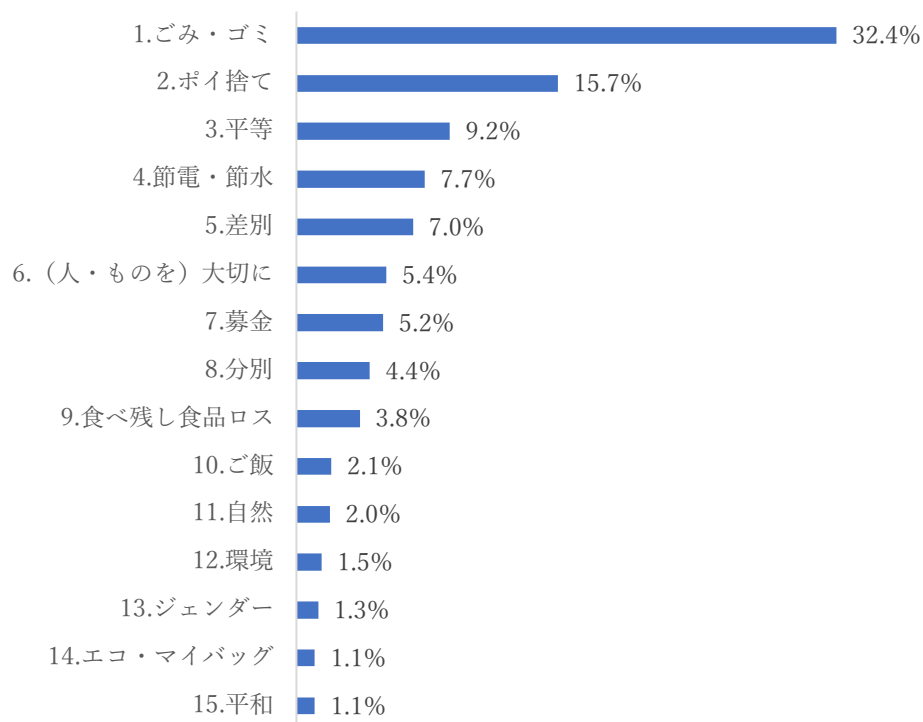


**Q 4** SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組んでいると思う目標はどれですか？（複数回答可）

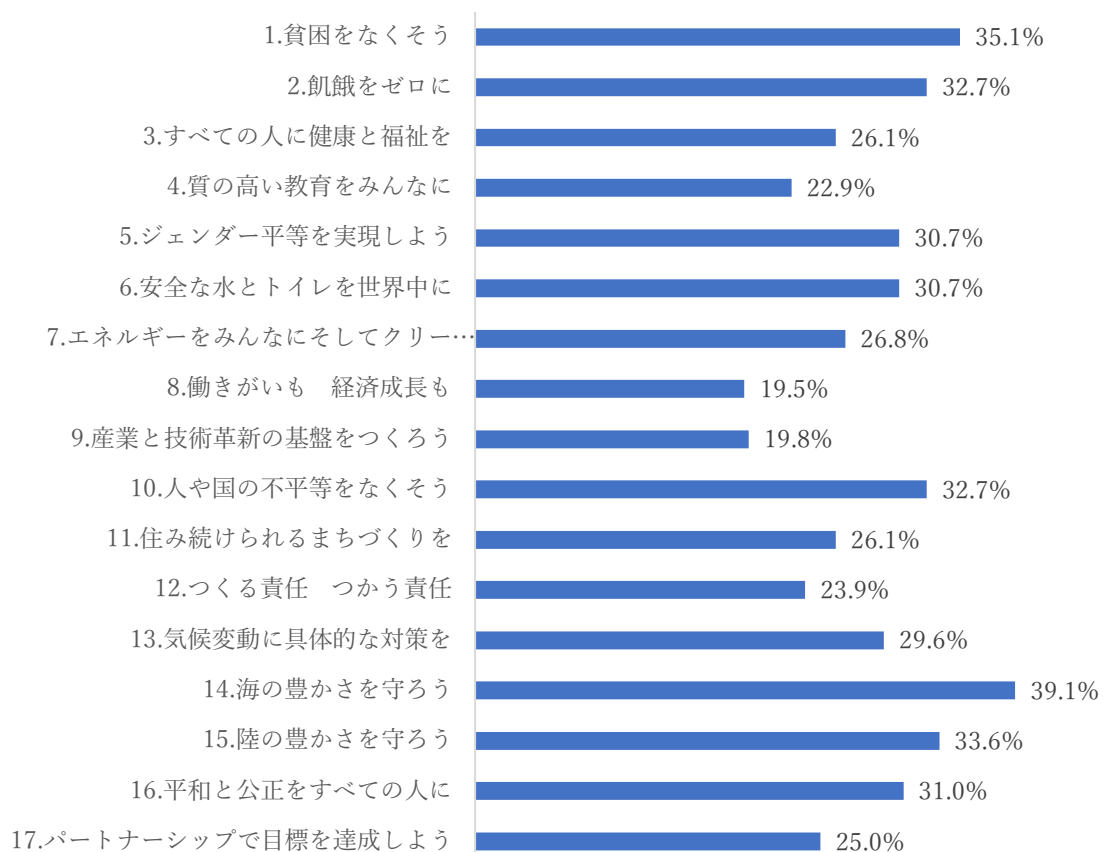


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 5** 上の質問で、取り組めているものがあつた人にお聞きします。具体的にどんなことに取り組んでいますか。（複数回答可）



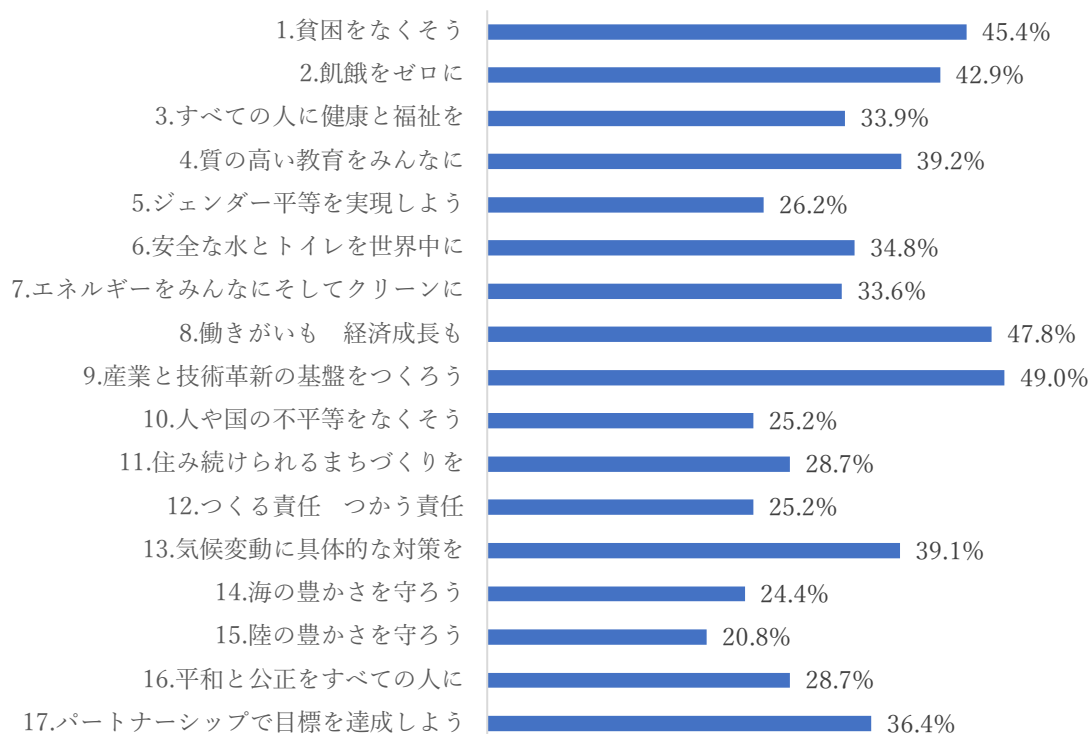
**Q 6** 17の目標の中で、あなたが特に気になるものはありますか。当てはまるものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

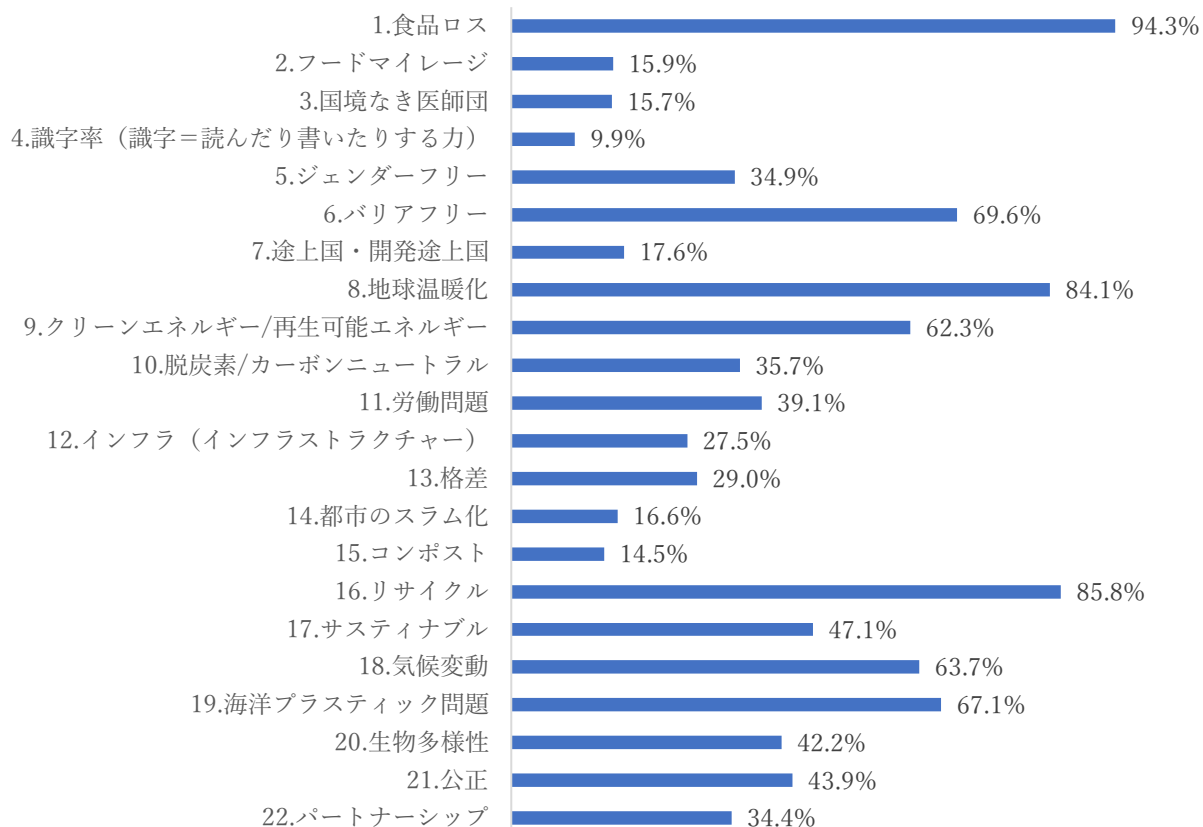
**Q 7**

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組めていないと思う目標はどれですか？当てはまるものにチェックをして下さい。（複数回答可）

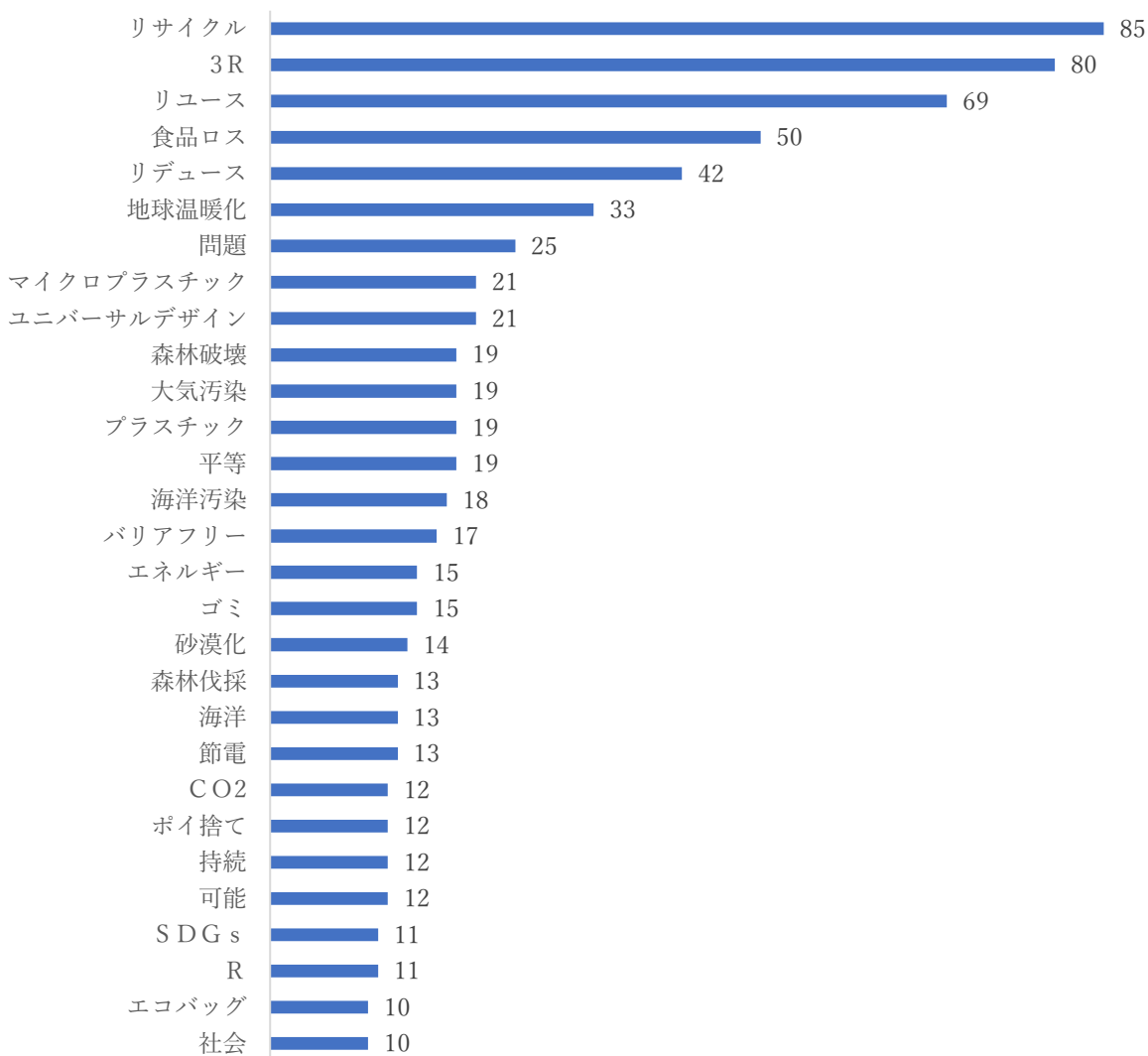


**Q 8**

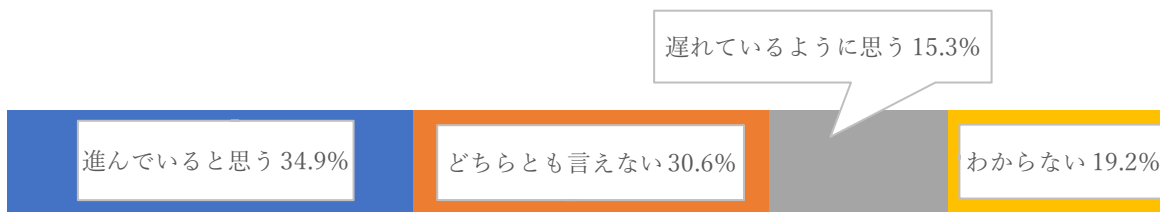
次の言葉はSDGsに関する言葉です。知っているものにチェックをして下さい。（複数回答可）



**Q 9** 上の質問にあった言葉の他に、SDGsに関する言葉で知っている言葉があったら書いて下さい。（複数回答可、数字は回答数）



**Q 10** 日本のSDGsの取組みは世界の中で進んでいると思いますか。



資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 11** 前の質問であなたがそのように思った理由を書いて下さい。（回答数 4,159 件）

[主な回答]

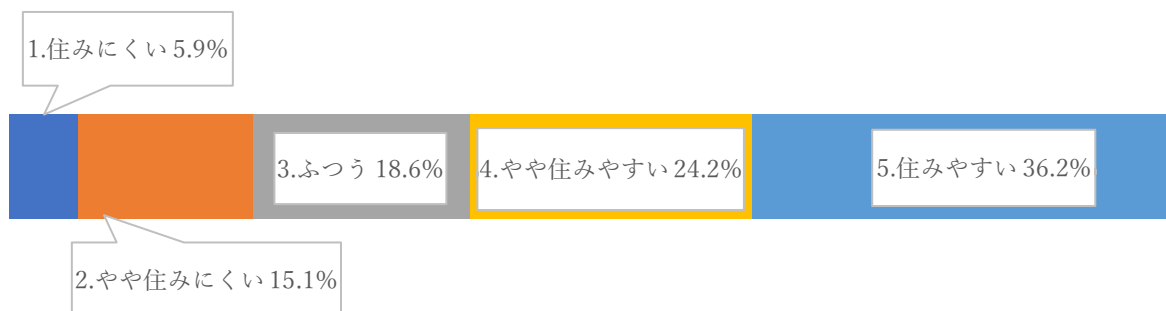
進んでいると思う理由：環境にやさしい車が作られている、ニュースや広告でよく見る、近くのスーパーにリサイクルボックスがある、エコバッグを使う人が増えた、学校でクリーン活動を行っている、バリアフリーの場所がある

遅れていると思う理由：ゴミのポイ捨てがなくなる、食品ロスが多い、取り組んでいる人が少ない、地球温暖化が進んでいる、女性議員が少ない

**Q 12** 今の地球の住みやすさは5段階のうちどのくらいだと思いますか。  
（1は「住みにくい」、5は「住みやすい」）



**Q 13** 未来の地球の住みやすさは5段階のうちどのくらいだと思いますか。  
（1は「住みにくい」、5は「住みやすい」）



**Q 14** 未来の地球の住みやすさについて、あなたが上の答のように思う理由を書いて下さい。  
（回答数 4,493 件）

[主な回答]

住みにくくなる理由：地球温暖化が進んで暑すぎる、自然環境が悪くなる、食品ロスをしていたせいで食料がなくなる、AIが使われすぎて人間がなんとかしようと思わなくなる、戦争がなくなる

住みやすくなる理由：ゴミのポイ捨てが減っている、科学技術が進歩する、ロボットが開発される、SDGsの取り組みが進んで今より良くなっている

資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

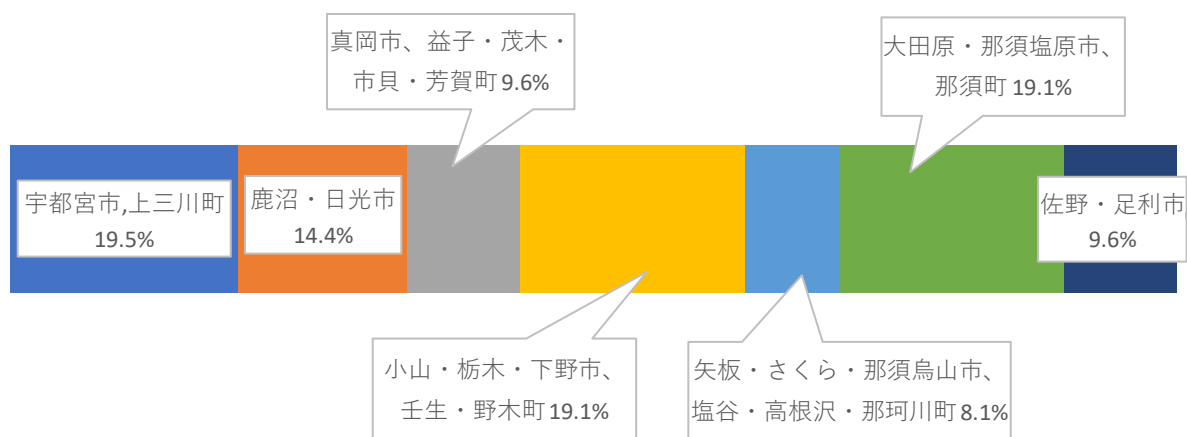
**Q 15** SDGsに取り組むことで、地球の未来はどのようにと思いますか。



## 小学校 教員 回答

回答者数 534 名

**Q 1** お勤めの学校についてご回答ください。

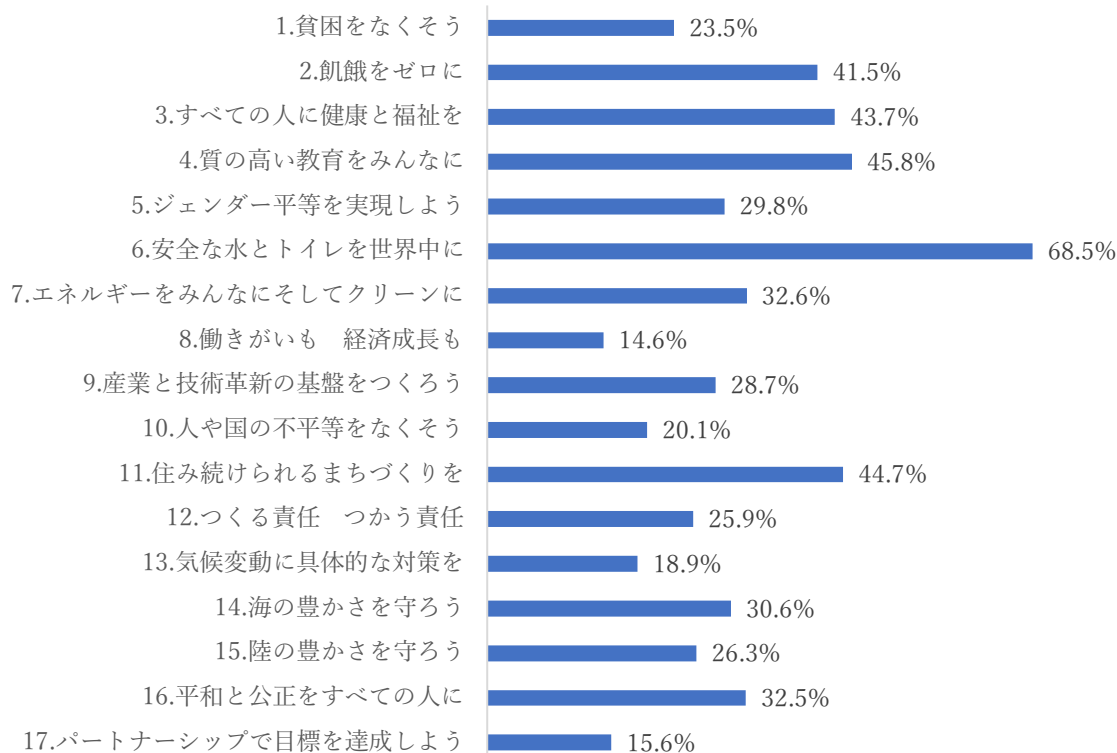


**Q 2** SDG s についてはどれくらいご存知ですか。

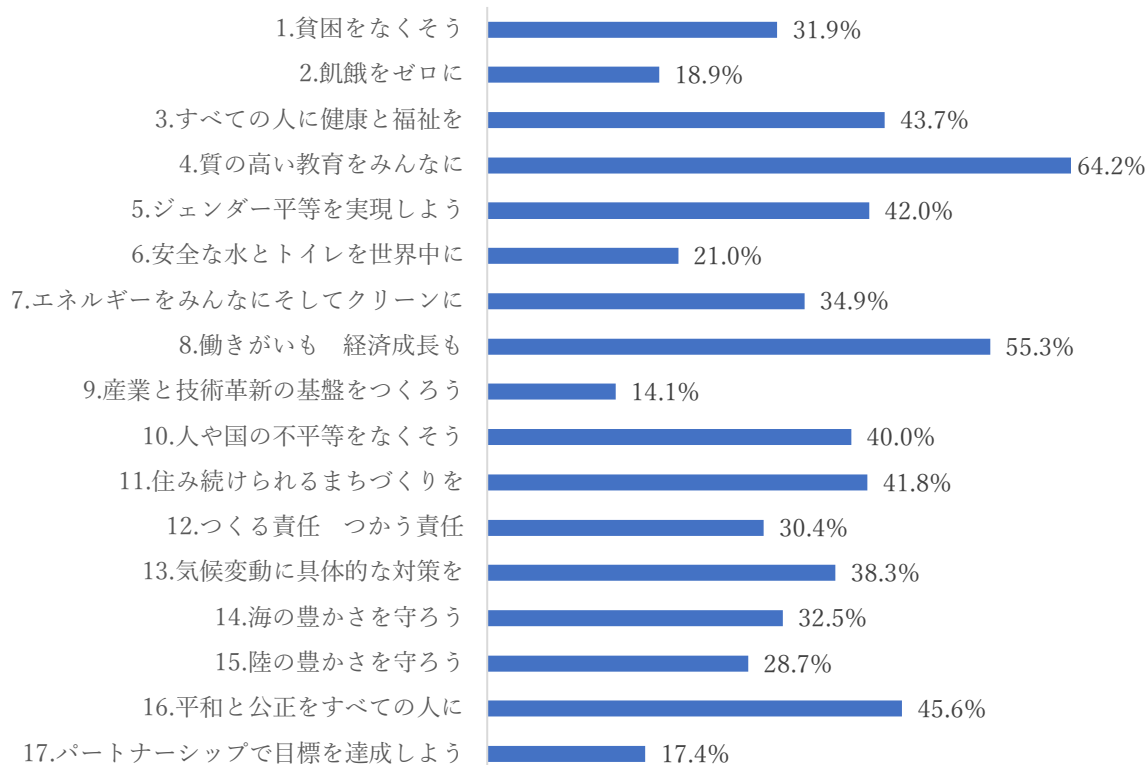


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 3** SDGsとは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標」のことで、次の目標の中で、日本が取り組んでいると思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

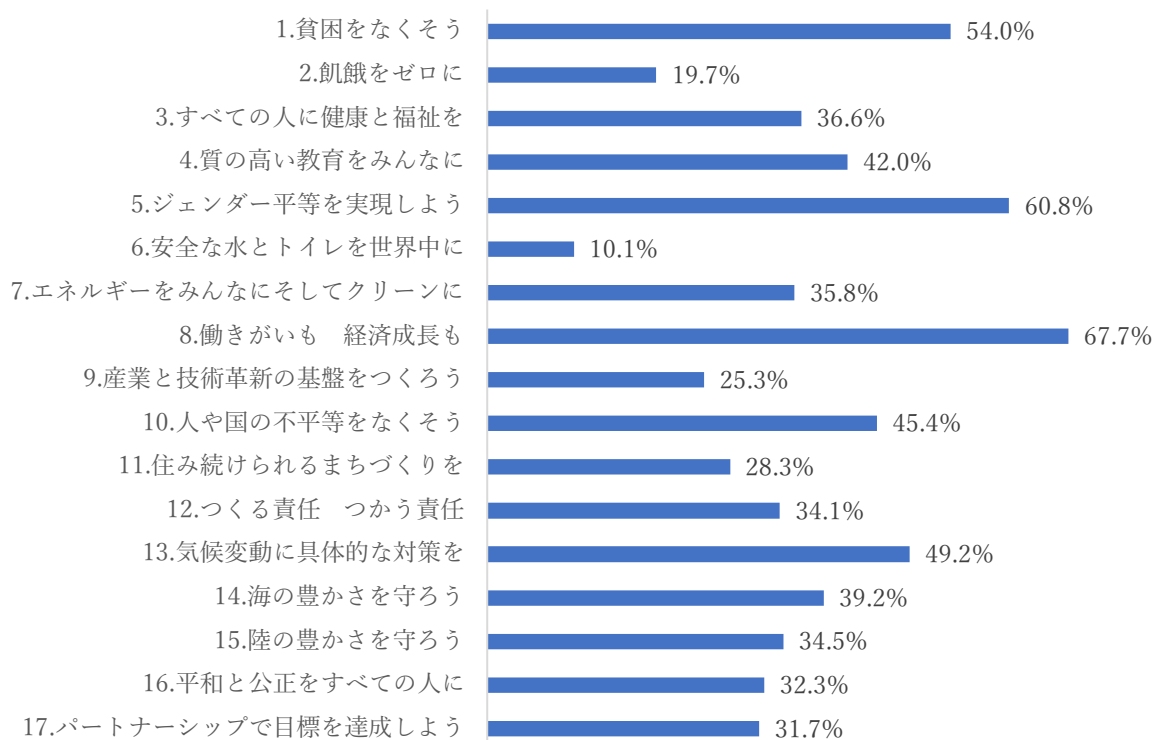


**Q 4** SDGsとは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標」のことで、次の目標の中で特に気になるものものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

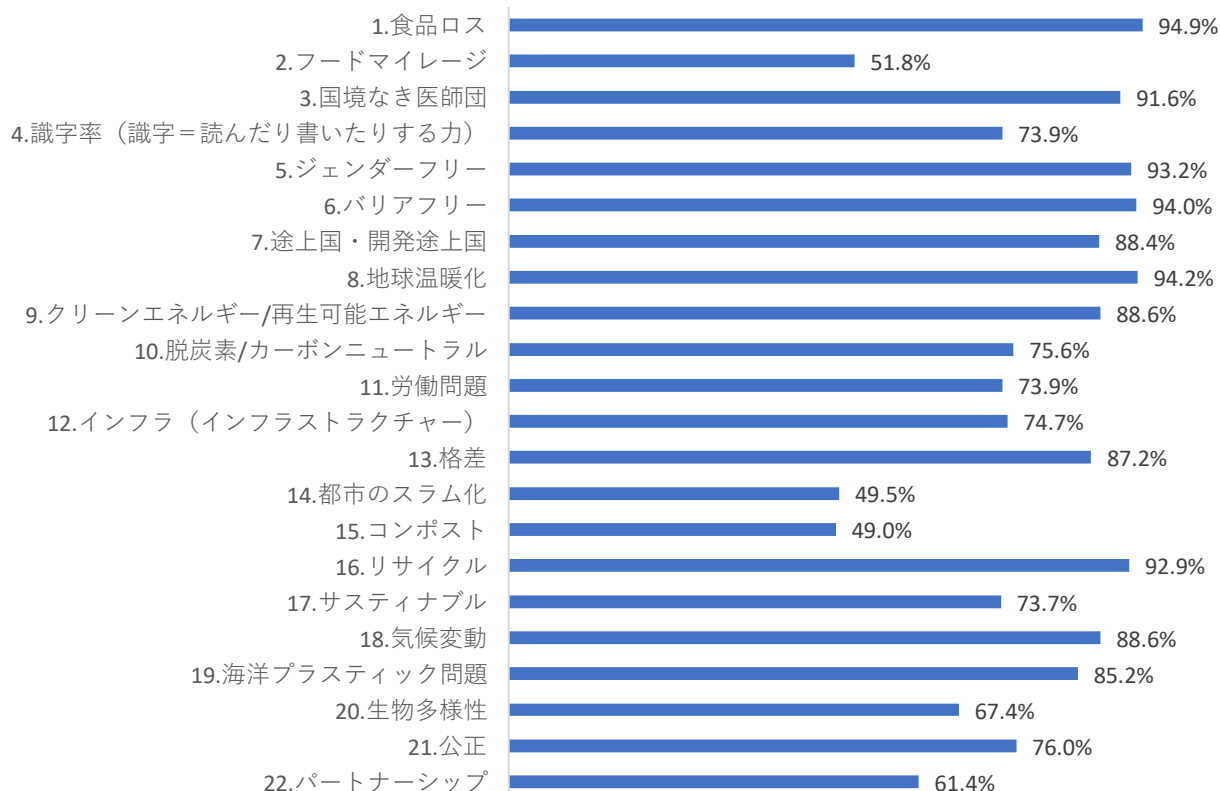


資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 5** SDGsとは「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標」のことで、下の目標の中で日本が達成できていないと思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

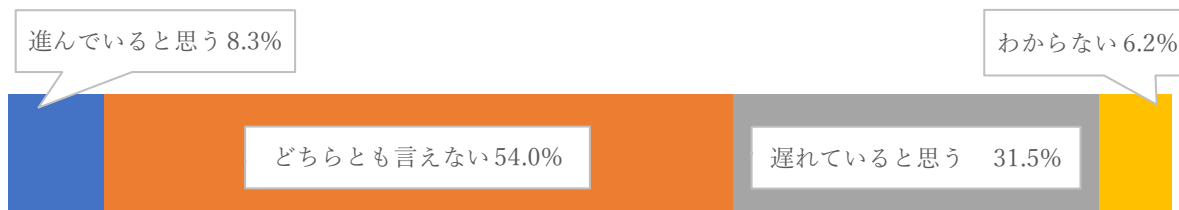


**Q 6** 次の言葉はSDGsに関する言葉です。ご存知のものをすべてチェックして下さい。（複数回答可）



資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 7** 日本のSDGsに関する取り組みは、世界の中で進んでいると思いますか。



**Q 8** 上の質問で、そのお答えを選んだ理由についてお聞かせください。（回答数 431 件）

[主な回答]

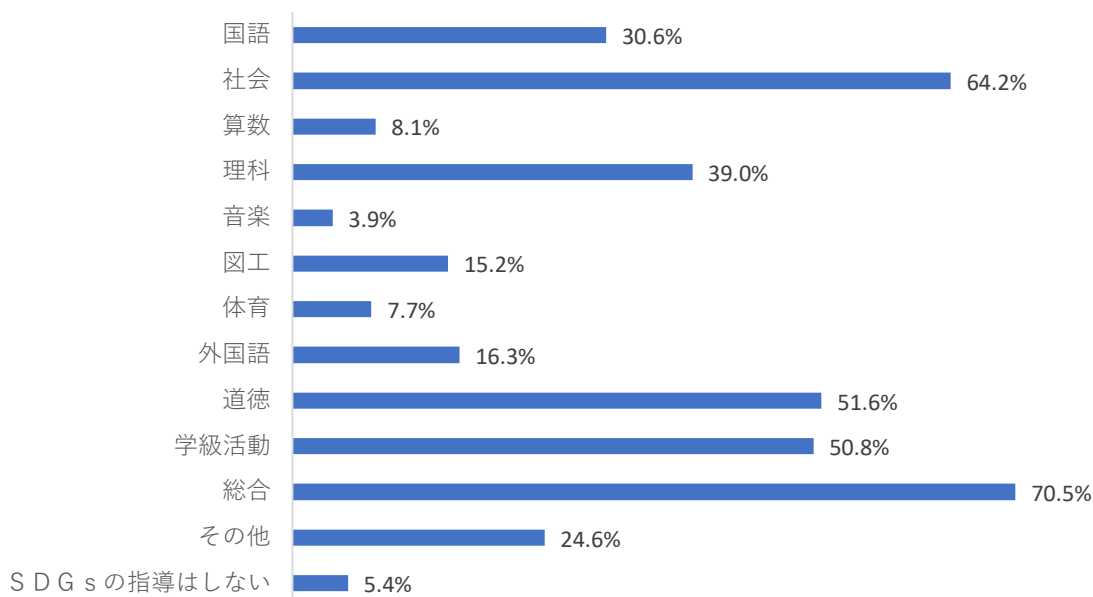
進んでいると思う理由：企業や教育現場での取り組みが進んでいる、メディアで取り上げる機会が多い、子供たちの意識が向上している

遅れていると思う理由：言葉だけが独り歩きして実際の行動が伴わない、他人事と捉えている人が多い、成果を感じられない、ジェンダーフリーなど諸外国に比べて遅れていることが多い

**Q 9** SDGsに取り組むことで、地球の未来はどう変わると思いますか。（複数回答可）



**Q 10** どのような教科や学習活動でSDGsを扱っておられますか。（複数回答可）



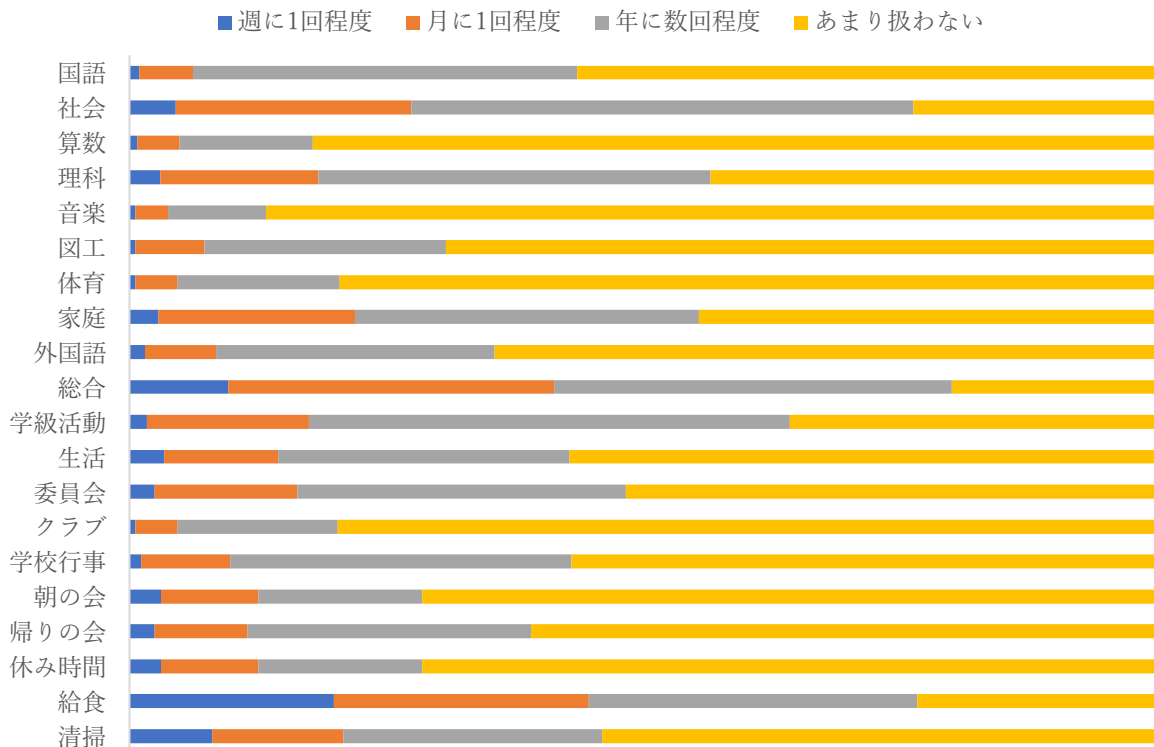
資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

**Q 11** SDGsについて、それぞれそれぞれの授業等で取り扱う頻度はどの程度ですか。

最も近いものにチェックをして下さい。（複数回答可）

	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	あまり扱わない
国語	0.9%	5.3%	37.3%	56.5%
社会	4.5%	22.9%	48.8%	23.8%
算数	0.8%	4.1%	12.9%	82.2%
理科	3.0%	15.4%	38.1%	43.5%
音楽	0.6%	3.2%	9.5%	86.7%
図工	0.6%	6.8%	23.5%	69.2%
体育	0.6%	4.1%	15.7%	79.6%
家庭	2.8%	19.1%	33.4%	44.7%
外国語	1.5%	6.9%	27.0%	64.5%
総合	9.6%	31.7%	38.6%	20.1%
学級活動	1.7%	15.8%	46.7%	35.8%
生活	3.4%	11.1%	28.3%	57.2%
委員会	2.4%	13.9%	31.9%	51.8%
クラブ	0.6%	4.1%	15.6%	79.7%
学校行事	1.1%	8.6%	33.2%	57.0%
朝の会	3.0%	9.5%	15.9%	71.6%
帰りの会	2.4%	9.0%	27.6%	61.0%
休み時間	3.0%	9.5%	15.9%	71.6%
給食	19.9%	24.8%	31.9%	23.5%
清掃	8.1%	12.8%	25.1%	54.0%

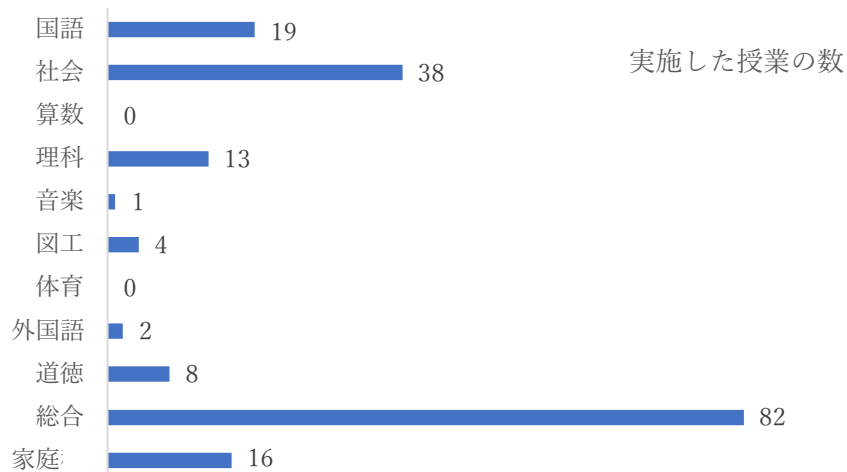
<SDGsを授業で取り扱う頻度>



Q 12

これまでに行った、SDGsを取入れた授業や活動がありましたらその授業名や活動名とそのねらいとポイントについて教えてください。（回答数 215 件）

[主な回答]



(具体例)

- ・国語：私たちにできること、フェアトレード、国際理解等の授業、環境問題の作文
- ・社会：地域学習、水とエネルギー、ゴミ処理とリサイクル、環境問題等の授業
- ・理科：生物どうしのつながり、クリーンエネルギー等の授業
- ・図工：ペットボトルや牛乳パックなどの「リサイクル」作品作り
- ・道徳：福祉、人権、豊かな地球、エコ活動等の授業
- ・総合：守ろう僕たちの地球、環境問題、貧困、地球温暖化対策等の授業、エコ活動実践
- ・家庭：食品ロス、持続可能な生活、リサイクル等の授業

**Q 13** 上記の質問で、お書き頂いた先生にお聞きします。ねらいやポイントが達成されましたか。また児童生徒の変容について教えてください。（回答数 206 件）

[主な回答]

達成された

- ・すぐに取り組めることを考えたり気をつけたいことを挙げたりするなど意識が変わった
- ・環境問題やエコ活動への関心が高まり、家庭でも取り組みを継続している児童も多い
- ・給食の食べ残しが減った
- ・世界と日本の違いに触れて、世界の課題について考える姿が見られた
- ・知識が広がった。フェアトレード商品に目が向く児童が増えた
- ・性別によって使う色の差がなくなってきた

達成されなかった

- ・あまり大きな変容はなかった。
- ・環境についての理解は進んだが、実践がまだまだ伴っていない
- ・調べ学習に傾いてしまい、具体的な活動まで結び付かなかった
- ・ねらいに近い反応が見られたが、授業後も継続的に興味をもつような工夫が必要

**Q 14** SDGs 17 の目標について、子供たちへの指導のしやすさについてお答え下さい。

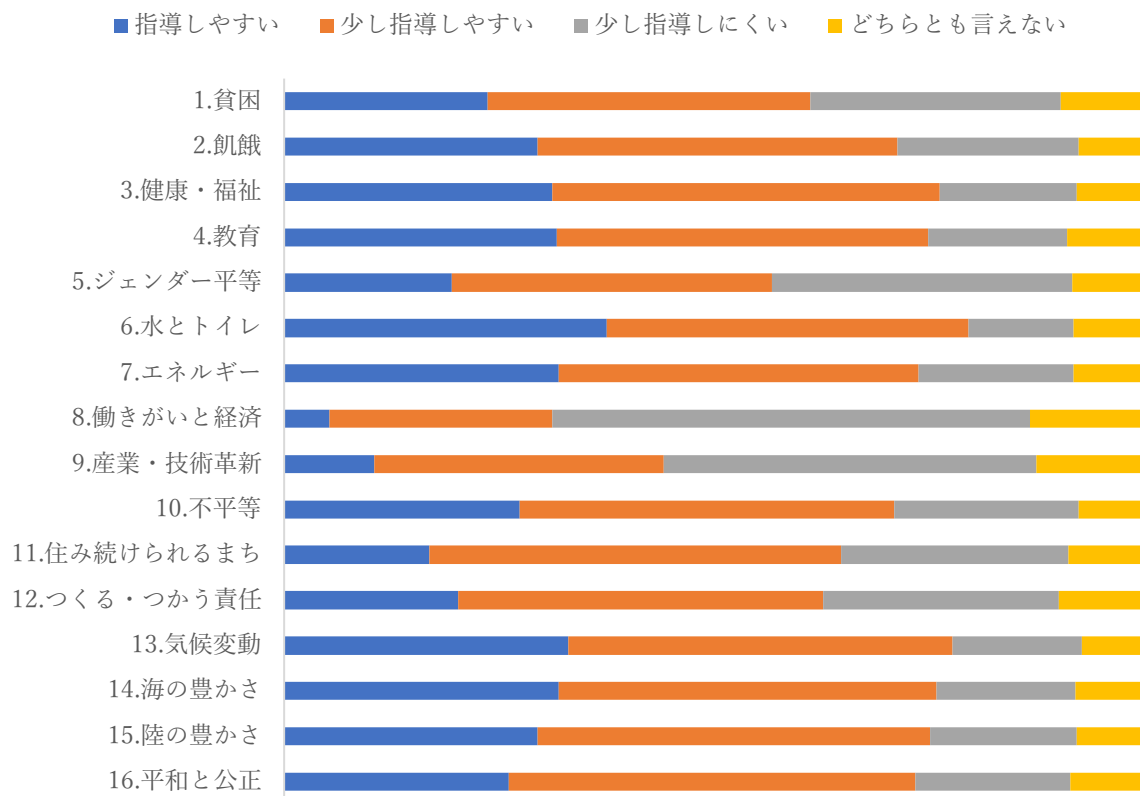
	指導しやすい	少し指導しやすい	少し指導しにくい	どちらとも言えない
1. 貧困	23.6%	37.5%	29.1%	9.8%
2. 飢餓	29.5%	41.8%	21.0%	7.7%
3. 健康・福祉	31.1%	45.0%	15.9%	7.9%
4. 教育	31.7%	43.2%	16.1%	9.0%
5. ジェンダー平等	19.5%	37.1%	34.9%	8.4%
6. 水とトイレ	37.5%	42.0%	12.2%	8.3%
7. エネルギー	31.9%	41.8%	18.0%	8.3%
8. 働きがいと経済	5.3%	25.9%	55.5%	13.3%
9. 産業・技術革新	10.5%	33.6%	43.3%	12.6%
10. 不平等	27.4%	43.5%	21.4%	7.7%

資料データ編【小学校（児童・教員・学校）】

11. 住み続けられるまち	16.9%	47.8%	26.5%	8.8%
12. つくる・つかう責任	20.3%	42.4%	27.4%	9.9%
13. 気候変動	33.0%	44.7%	15.0%	7.3%
14. 海の豊かさ	31.9%	43.9%	16.1%	8.1%
15. 陸の豊かさ	29.5%	45.6%	17.1%	7.9%
16. 平和と公正	26.1%	47.3%	18.0%	8.6%

※質問の回答項目に目標 17 の「パートナーシップ」が抜けておりましたので目標 17 の回答はありません。

<SDGsに関する指導のしやすさ>



**Q 15**

SDGs に関することで、何かご意見があればご記入ください。(回答数 70 件)

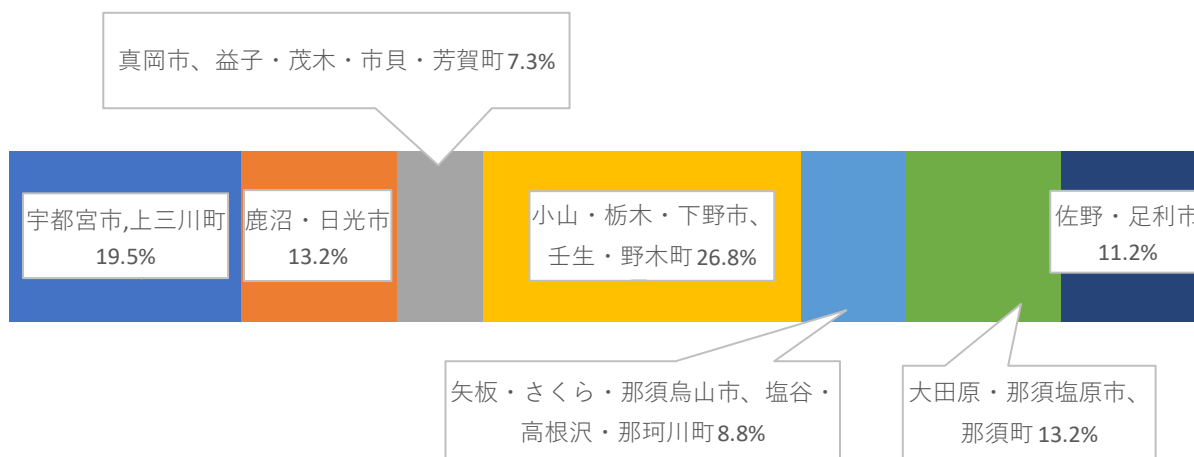
[主な回答]

- ・教材や実践例が必要、指導することが難しい
- ・授業の中で触れることはできるがしっかり指導する時間を割くことは難しい
- ・指導内容が増えることで教員・生徒の負担が増えることのないように求める
- ・出前授業があるとよい

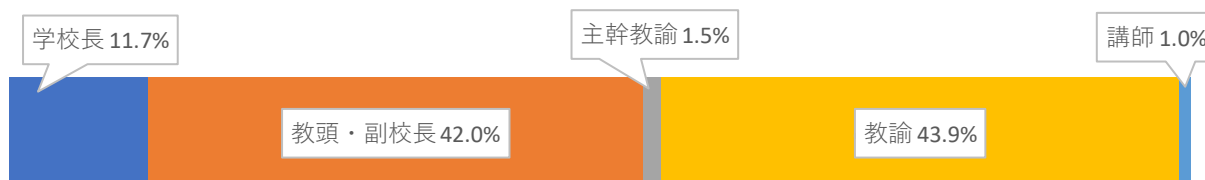
# 小学校 学校 回答

回答校数 205 校

**Q 1** 御校のある地区はどこですか。



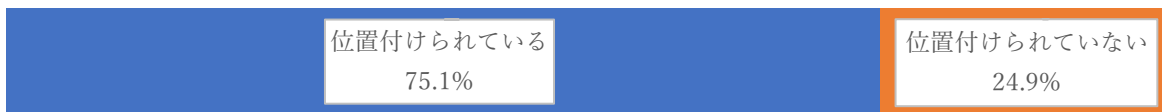
**Q 2** このアンケートにご回答いただいている方の、職名をお答え下さい。



**Q 3** このアンケートにご回答いただいている方の、教員としての勤務年数をお答え下さい。



**Q 4** 御校ではSDGsに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。



**Q 5** 上の3の質問で「位置づけられている」と回答いただいた学校にお聞きします。位置付けられている分掌名をお書き下さい。(回答数 51 件)

[主な回答]

環境教育、SDGs、人権教育、ISO、福祉教育、キャリア教育  
総合的な学習の時間、生涯学習、性教育、その他

**Q 6** SDGsと学校行事を関連させた取組みを行っていらっしゃいますか。



**Q 7** 上の6の質問に、「行っている」と回答された学校にお聞きします。それはどのような取り組みですか。行事名などでお答え下さい。(回答数 86 件)

[主な回答]

リサイクル回収、地域活動、清掃活動、緑化活動、人権教育活動、修学旅行  
校外学習、総合的な学習の時間、委員会

**Q 8** SDGsに関する内容を取り扱う場合、学校として困難な点があったらお書き下さい。(回答数 87 件)

[主な回答]

- ・他の業務で多忙なためSDGsに関する教育の準備に割く時間が確保できない
- ・年間指導計画や校務分掌、指導要領に明確に設定されていないので実施が難しい
- ・教員の知識不足を懸念する、扱う範囲が広すぎる
- ・外部講師とのつながりがまだ少ない

**Q 9** SDG s に関する内容を扱ったことがある場合、学校としてよかった点はどんなところかお書き下さい。(回答数 99 件)

[主な回答]

- ・環境問題に対する児童の意識が高まった
- ・グローバルな視点、異文化理解が深まった
- ・学校だけでなく保護者や地域に広めることができ、つながりが深まった
- ・人権や福祉についての意識や関心が高まってきている

**Q 10** SDG s の指導に関する取り組みについて、上の回答以外にご意見がありましたら、お書き下さい。(回答数 48 件)

[主な回答]

- ・学年に応じた取り組みを実施している
- ・教育課程や年間指導計画に明確化されていれば実施したい
- ・SDG s など学校で指導する内容が年々増えると、何を学校で扱うとよいか、何を減らすべきか考える必要がある

SDGsの視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編  
中学校

一般財団法人栃木県連合教育会

令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはおりません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。  
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

[回答結果]

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

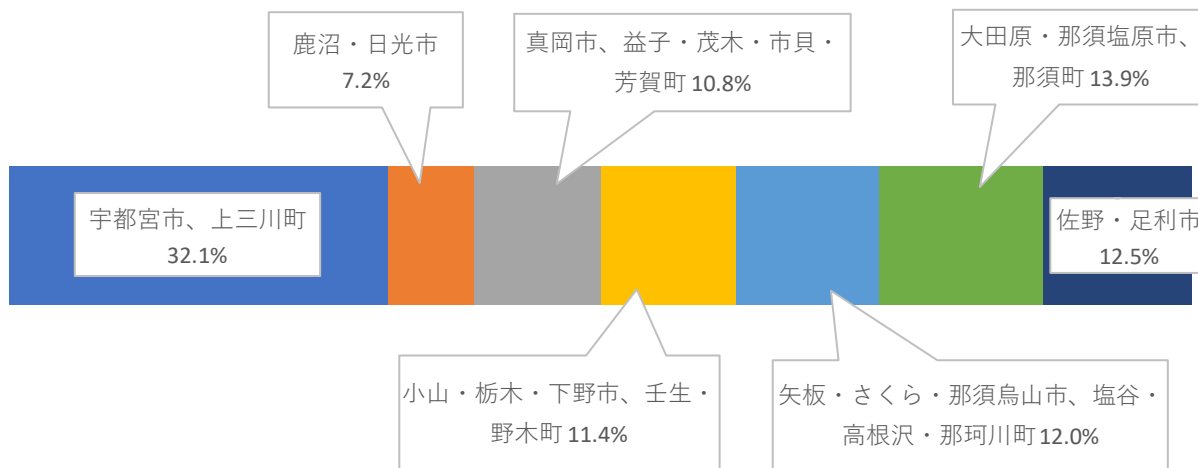
TEL 028-621-7216

Email [kenkyu@tochigi.rk.jp](mailto:kenkyu@tochigi.rk.jp)

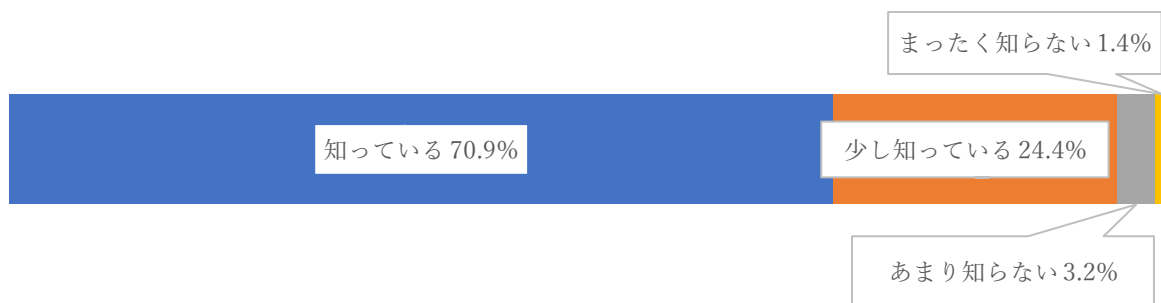
# 中学校 生徒 回答

回答生徒数 4,982名

**Q1** あなたの学校のある市や町はどこですか。



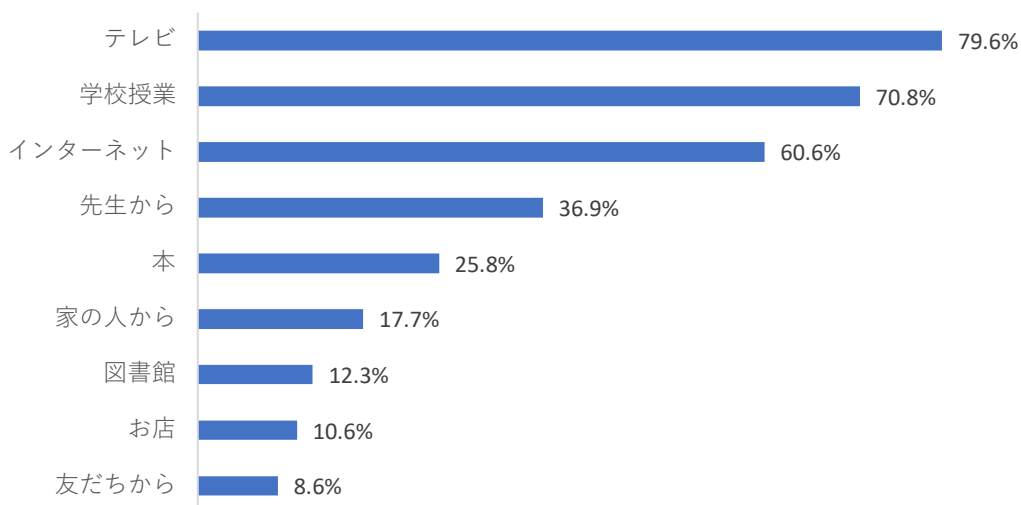
**Q2** 「SDG s」という言葉を知っていますか。



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

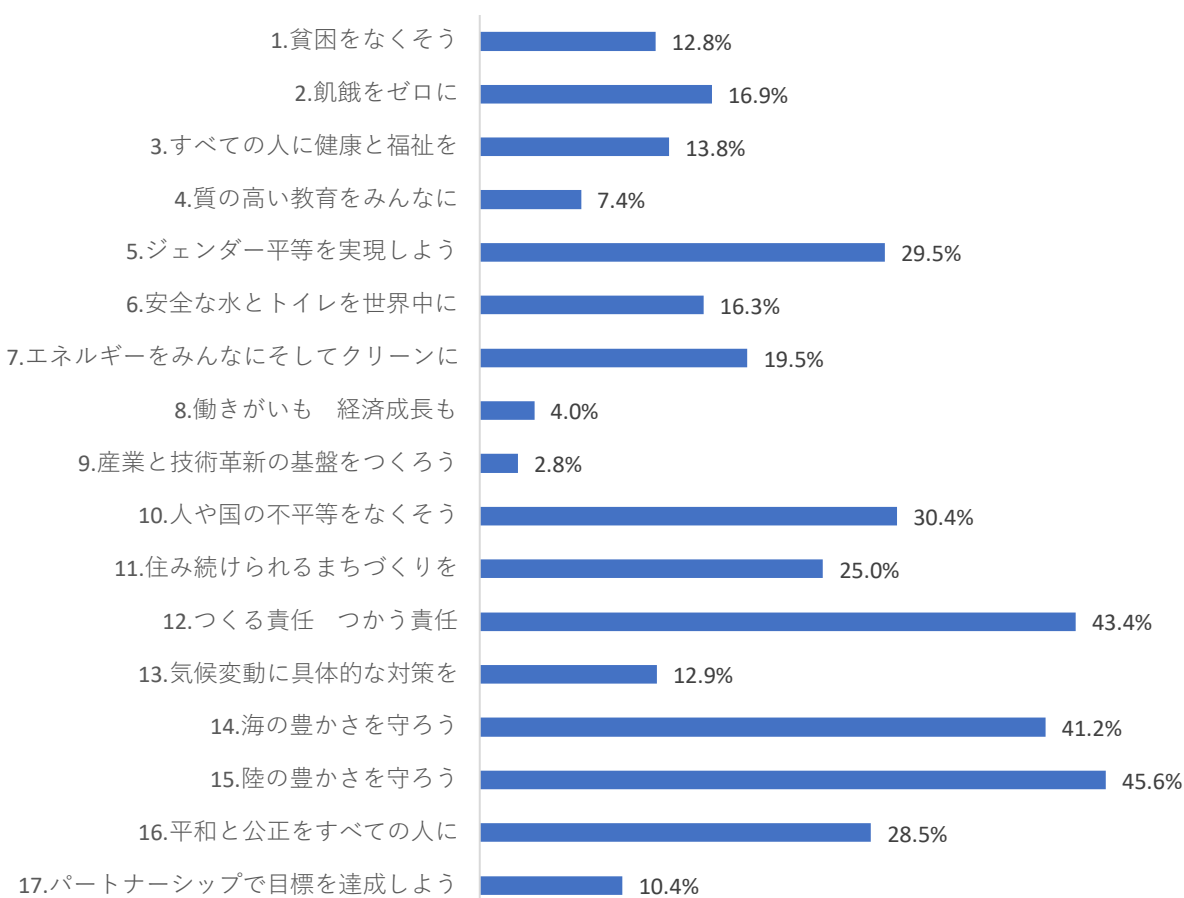
**Q 3**

「知っている」、「少し知っている」と答えた人にお聞きします。どこでSDGsについて知りましたか？（あてはまるものをすべてチェックしてください）  
（複数回答可）



**Q 4**

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組んでいると思う目標はどれですか？  
（複数回答可）

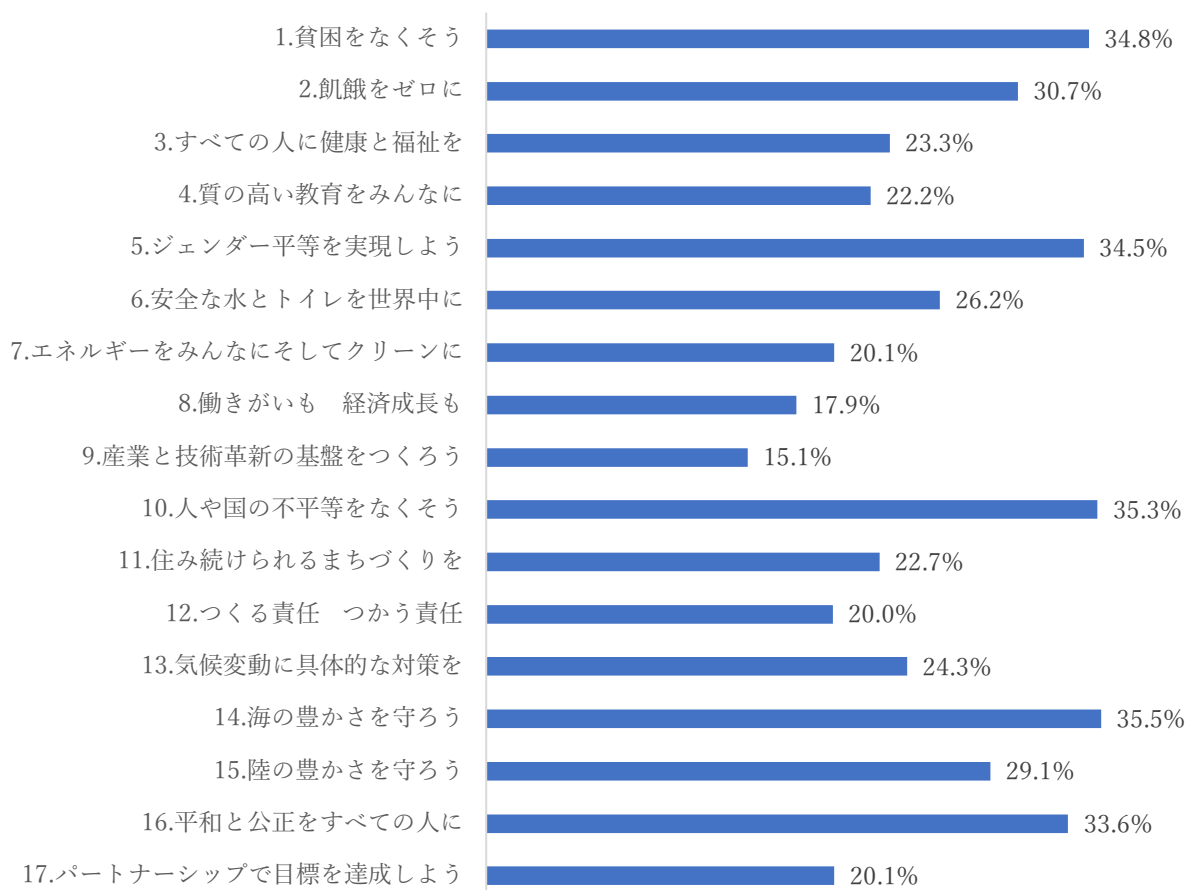


**Q 5** 上の質問で、取り組んでいるものがあつた人にお聞きします。具体的にどんなことに取り組んでいますか。（回答数 4,323 件）

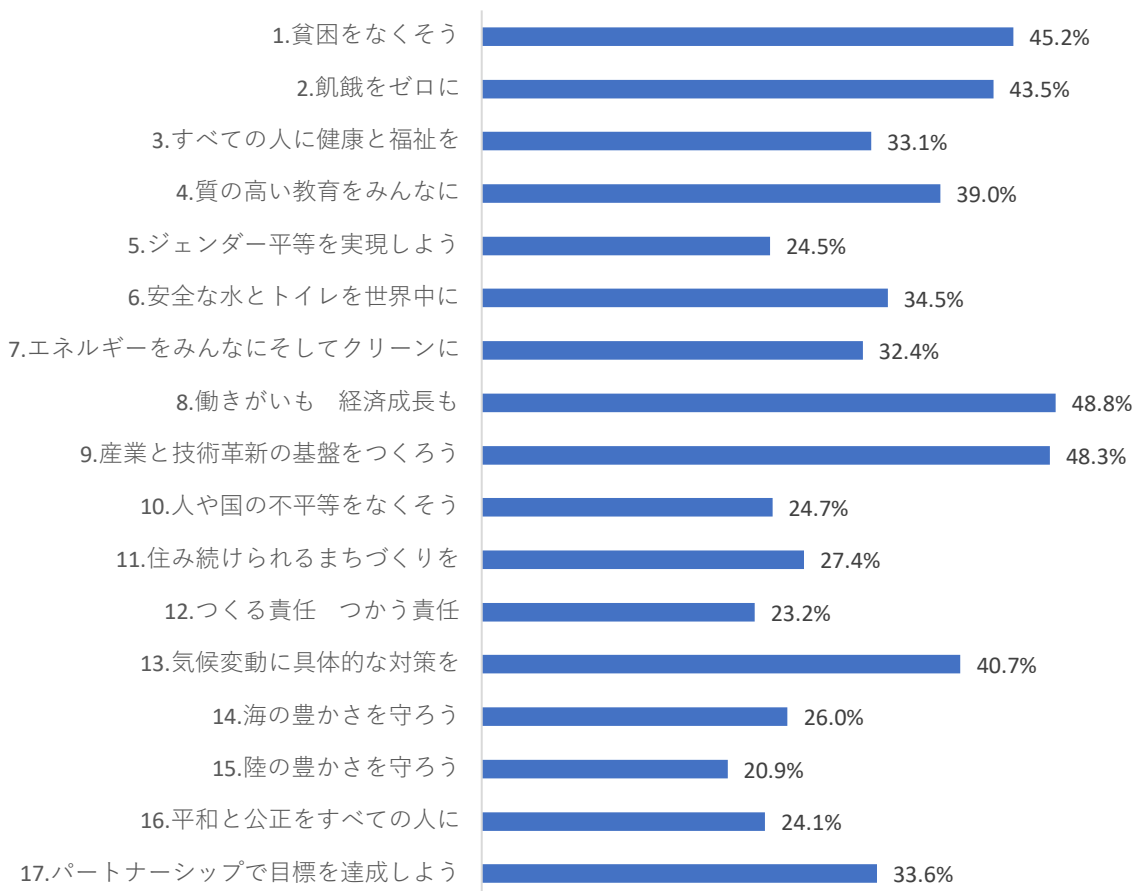
[主な回答]

エアコンの設定温度に気をつける、 エコバックを使う、 エネルギーの節約  
 ゴミの分別・削減、 ご飯を残さない、 ポイ捨てをしない、 ジェンダー平等に気をつける  
 プラスチック製品を使わないようにする、 リサイクルする、 ものを大切に使う  
 いらぬものを買わない、 差別をしない、 いじめをしない、 募金する

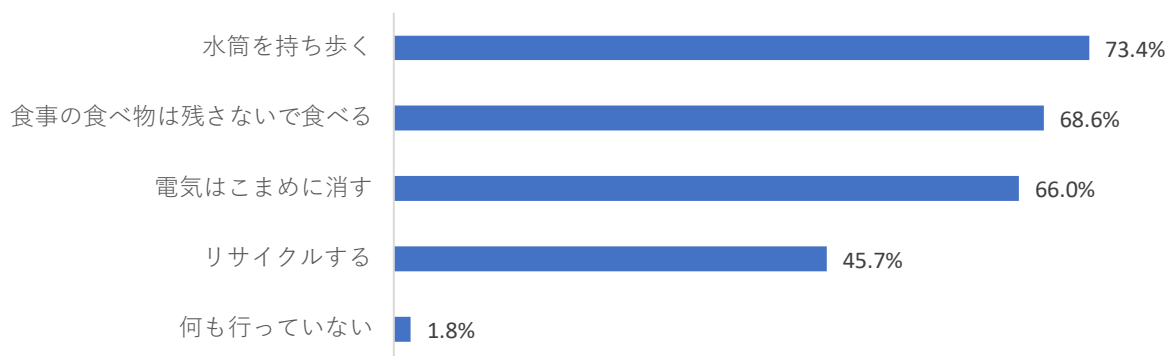
**Q 6** 17の目標の中で、あなたが特に気になるものはありますか。当てはまるものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



**Q 7** SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組めていないと思う目標はどれですか？当てはまるものにチェックをして下さい。（複数回答可）



**Q 8** SDGs 17の目標達成のために、あなたが行っている行動として該当するものは次のうちどれですか。該当する項目にチェックをしてください。（複数回答可）

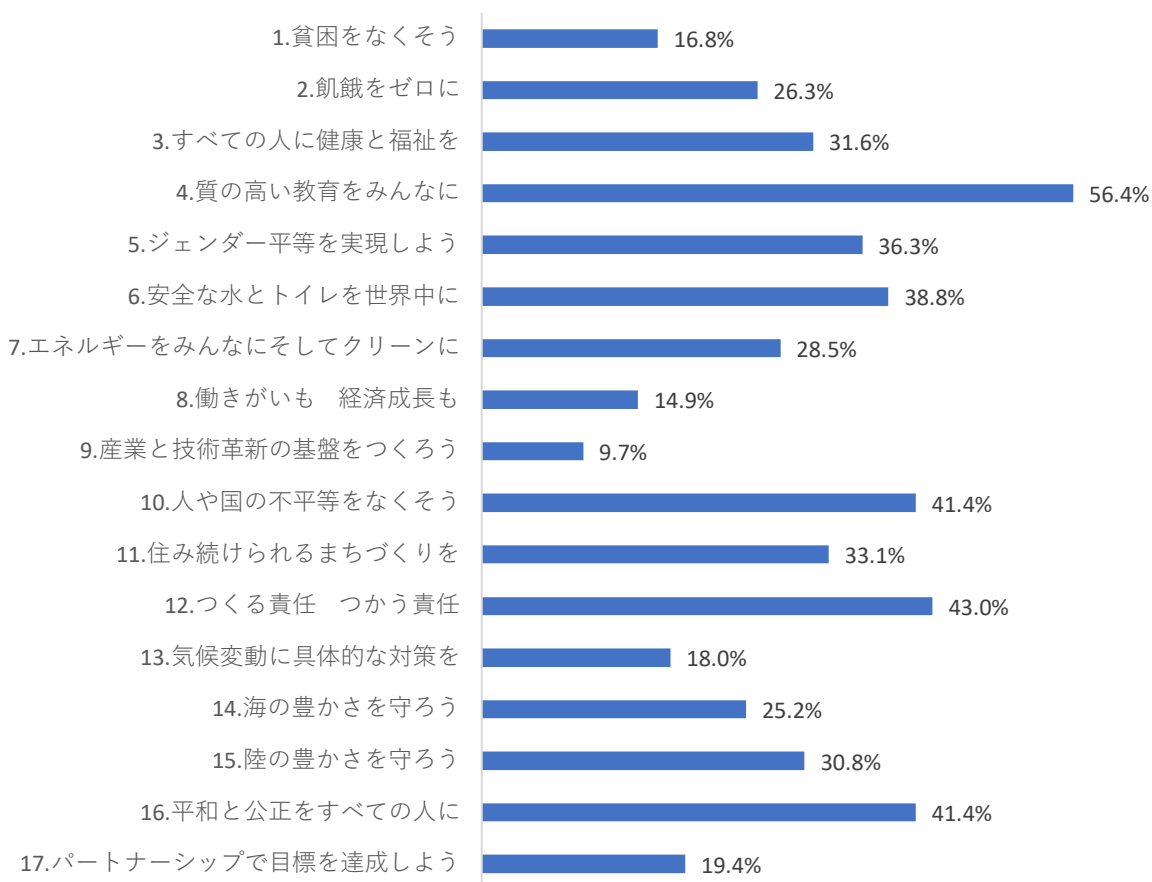


**Q 9** 上の質問で、「何も行っていない」と答えた方にお聞きします。何もしない理由と今後行いたいことがあれば書いて下さい。（回答数 91 件）

[主な回答]

わからない、 めんどく、 忘れてしまう、 しても変わらない、 今のままでいい  
危機感を感じない、 私がやらなくても、 やりたくない、 する意味がわからない  
理由はない

**Q 10** 17 の目標の中で学校生活や日常生活と特につながっているのはどれだと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。（複数回答可）

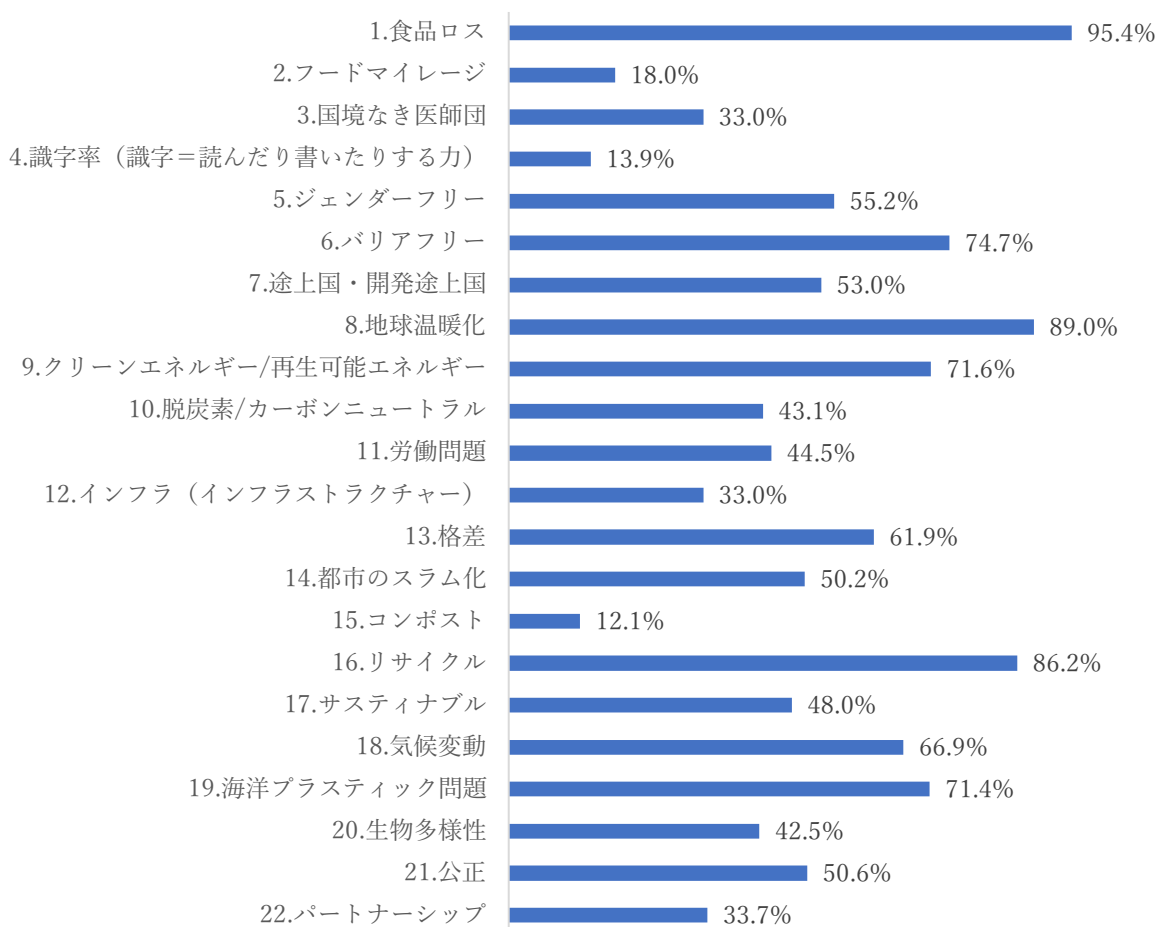


**Q 11** 上の質問で、選んだ目標とどんな点がつながっていると思いますか。またその理由は何ですか。（回答数 3,116 件）

[主な回答]

- ・義務教育のおかげで学校で教育を受けているから
- ・いじめや差別をなくそうとすることは人や国の不平等をなくすことにつながると思うから
- ・食べ物を残さずに食べれば飢餓をなくすことができると思うから
- ・安全な水とトイレは毎日使うものだから
- ・電気をこまめに消したりエアコンを使いすぎないようにすればエネルギーを節約できて地球温暖化対策に貢献できると思うから
- ・買ったものを最後まで使う、リサイクル活動をする
- ・質の高い教育をすることで将来の経済発展に繋がると思う
- ・ポイ捨てをしなければ海や陸の豊かさを守れると思う
- ・授業や生活で色々な人と関わることが公正などとつながると思うから
- ・クラスみんなで力を合わせて目標を達成するから

**Q 12** 次の言葉はSDGsに関する言葉です。知っているものにチェックをして下さい。（複数回答可）

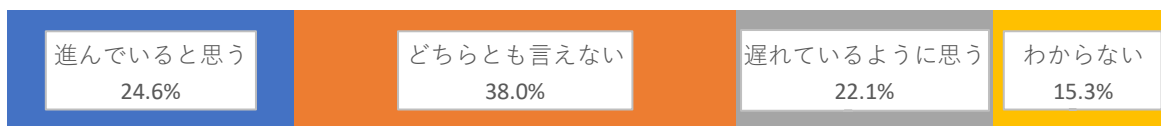


**Q 13** 上の質問にあった言葉のほかに、SDGsに関係すると思う言葉であなたが知っている言葉があれば書いてください。（回答数 1,024 件）

[主な回答]

3R、CO<sub>2</sub>削減、LGBTQ、いじめゼロ、エコバック、エシカル、オゾン層破壊  
バイオ燃料、フェアトレード、マイクロプラスチック、ユニセフ、海面上昇  
海洋汚染、環境破壊、省エネ、森林伐採、人権・人種差別、貧困、少子高齢化  
節電・節水、大気汚染、電気自動車

**Q 14** 日本のSDGsの取組みは世界の中で進んでいると思いますか。



**Q 15** 上の質問であなたがそのように思った理由を書いて下さい。（回答数 4,179 件）

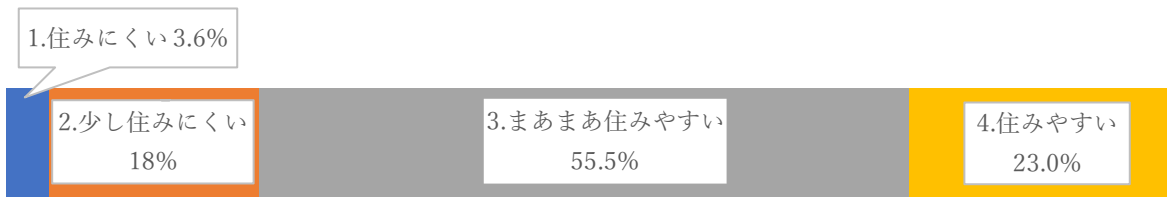
[主な回答]

進んでいると思う理由：テレビなどでSDGsの報道等をよく見る、エコバッグやマイボトル・紙ストロー等が普及してきた、リサイクルが進んでいる  
SDGsを意識づける活動が増えた

遅れていると思う理由：SDGsについての報道等をあまり見ない、食品ロスが多い  
ジェンダーへの理解が遅れている、ゴミが減らない  
火力発電が多い

わからない理由：外国と比べて進み具合が不明、SDGsについてよく知らない  
興味がない、できているものとできていないものがあると思う

**Q 16** 今の地球の住みやすさは4段階のうちどのくらいだと思いますか。  
 (1は「住みにくい」、4は「住みやすい」)



**Q 17** 未来の地球の住みやすさは4段階のうちどのくらいだと思いますか。  
 (1は「住みにくい」、4は「住みやすい」)



**Q 18** 未来の地球の住みやすさについて、あなたが上の答のように思う理由を書いて下さい。  
 (回答数 4,251 件)

[主な回答]

住みにくい理由：地球温暖化が進む、 災害や異常気象が多くなる、 環境問題が進む  
 資源や食料が不足する、 格差が広がる、 物価・税金が高くなる  
 人口増加・少子高齢化、 ゴミが増える、 戦争がなくなる

住みやすい理由：科学技術が発達する、 AI が進化して生活が便利になる  
 SDG s の目標が達成される、 再生可能エネルギーが活用される  
 世界中が環境問題を解決しようとしている

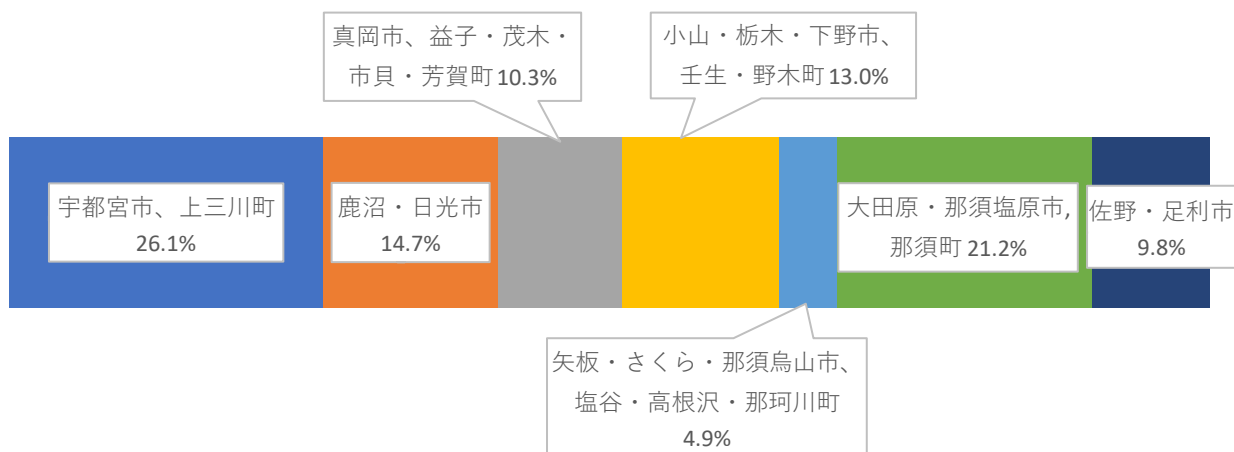
**Q 19** SDG s に取り組むことで、地球の未来はどうなると思いますか。



## 中学校教員 回答

回答教員数 184名

**Q1** お勤めの学校はどこですか。

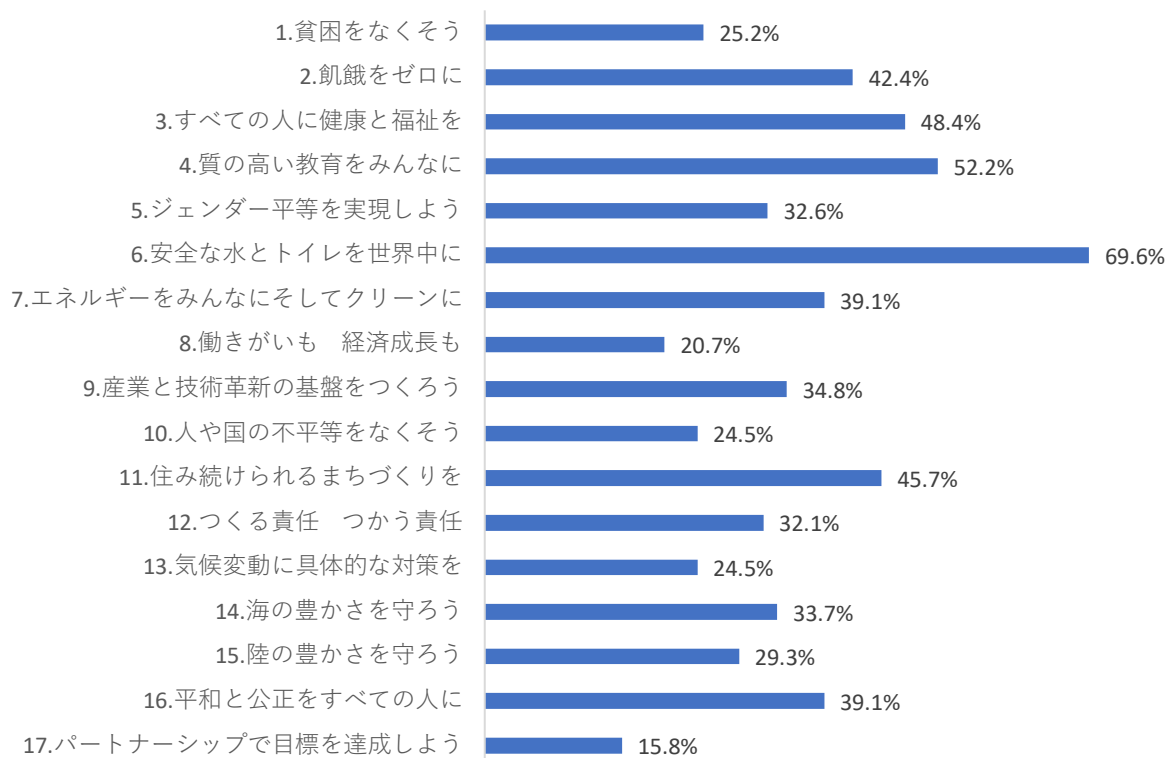


**Q2** SDGsについてどれくらいご存知ですか。



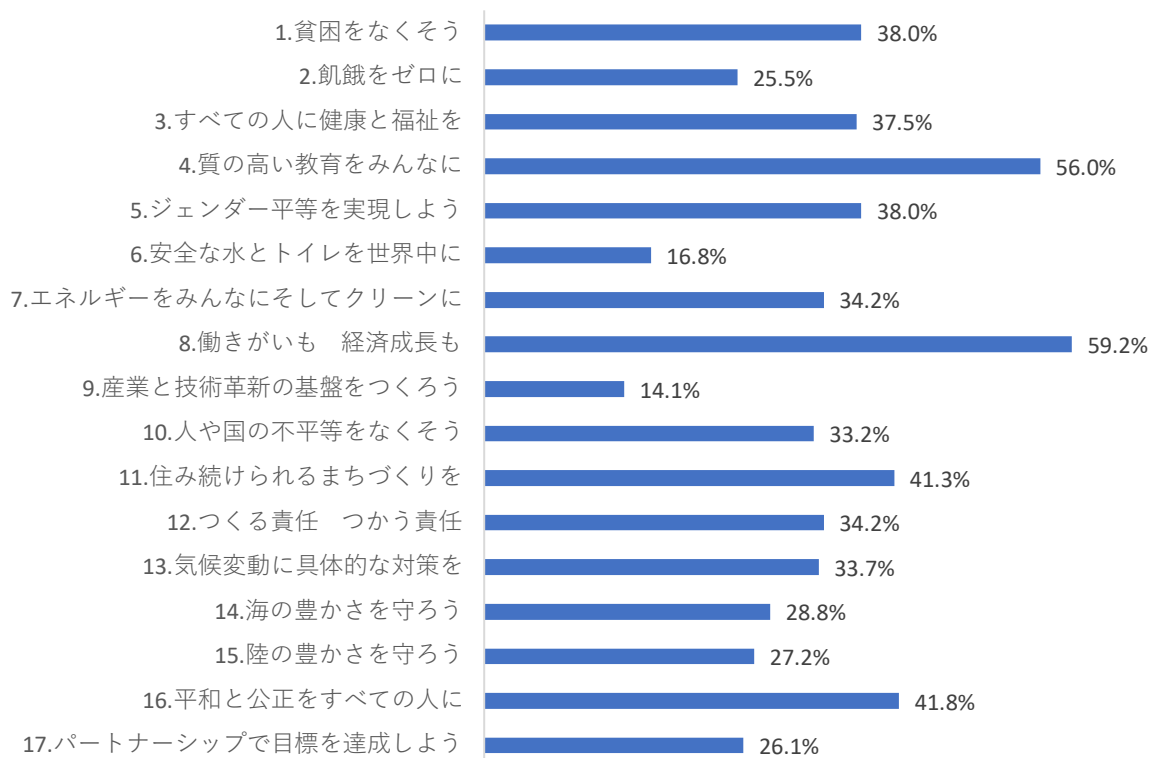
資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

**Q 3** SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、日本が日頃取り組んでいると思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

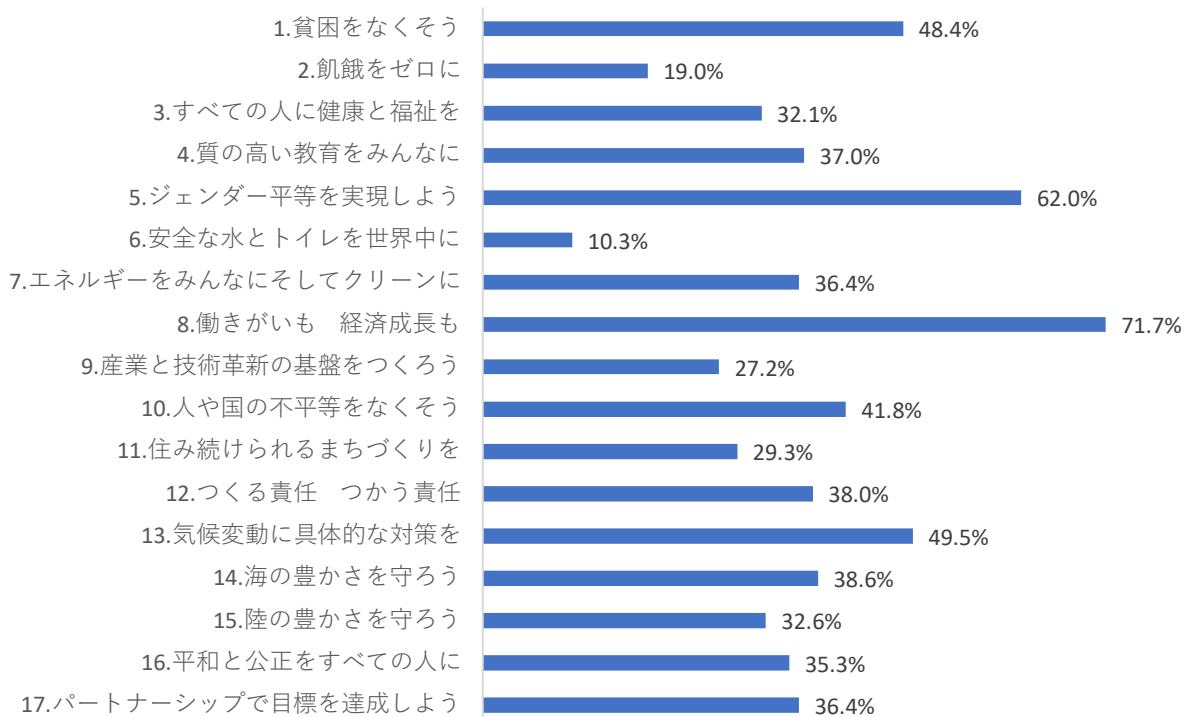
**Q 4** SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。次の目標の中で特に気になるものものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

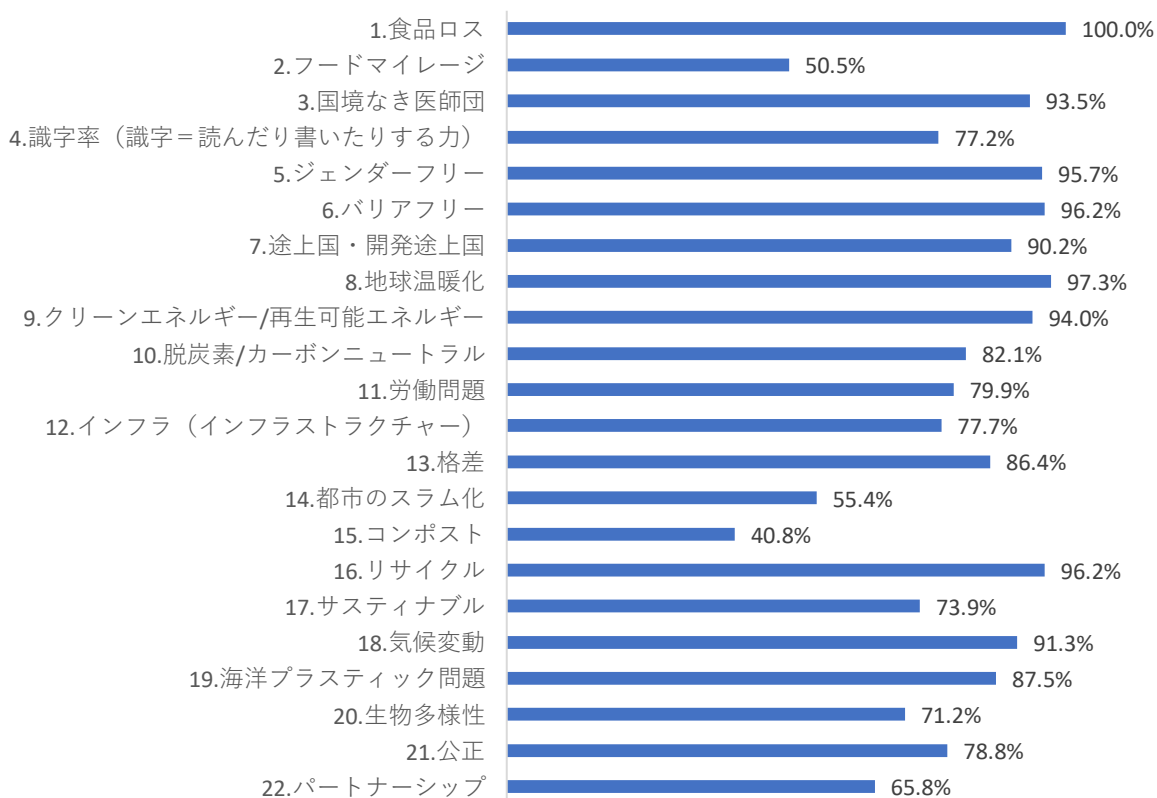
**Q 5**

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、日本が達成できていないと思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

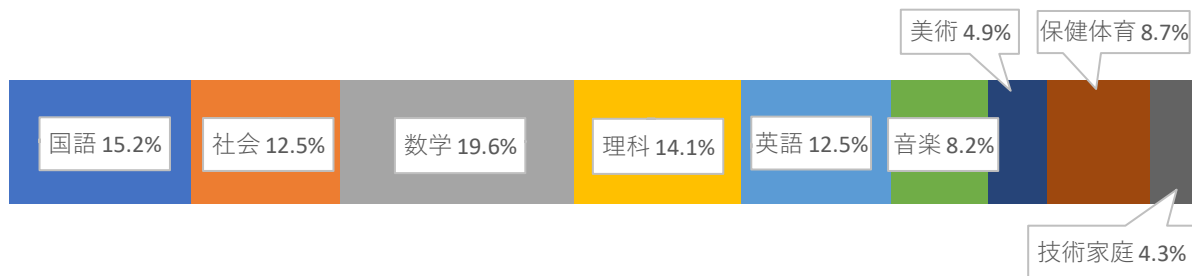


資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

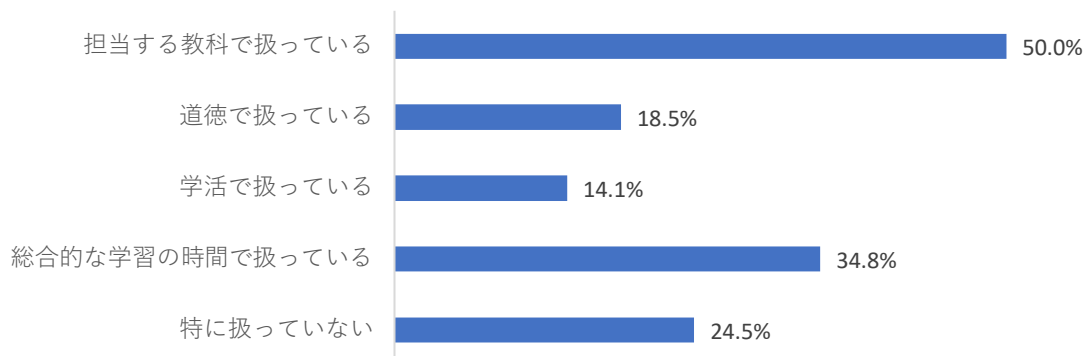
**Q 6** 次の言葉はSDGsに関する言葉です。ご存知のものをすべてチェックして下さい。（複数回答可）



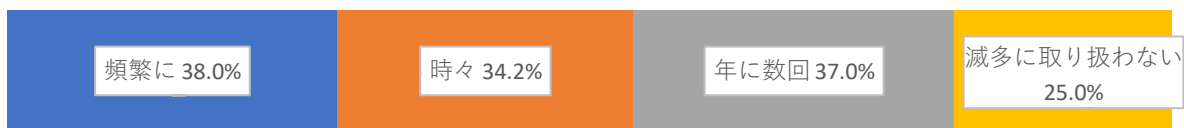
**Q 7** 担当教科をご回答ください。複数の場合、主なものにチェックして下さい。



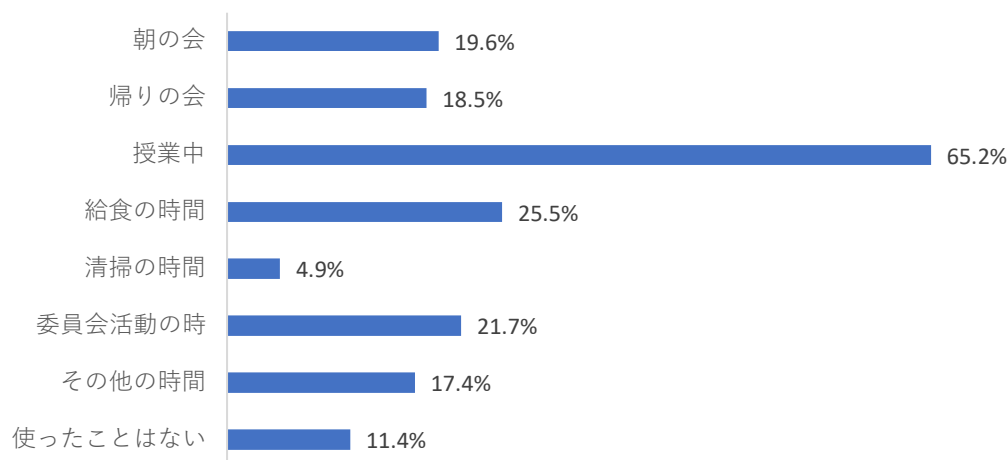
**Q 8** SDGsを授業で扱っていますか。（複数回答可）



**Q 9** SDG sを授業で扱う頻度はどれくらいですか。



**Q 10** 学校で生徒たちに「SDG s」という言葉を意図的に使ったことはありますか。それは、学校生活の中のどのような場面ですか。（複数回答可）



**Q 11** これまでに行ったSDG sを取入れた授業や活動がありましたら、授業名や活動名、そのねらいやポイントを教えてください。（回答数 99 件）

[主な回答]

社会：公民の授業で扱った回答が多数。 国際社会が抱える課題、再生可能エネルギー、貧困等に関する内容、 持続可能な社会についてレポートにまとめて発表

理科：再生可能エネルギーや持続可能な社会を考えさせる内容、自然のもたらす恵みと災害について学ぶ内容、物質分野の実験においてマイクロスケール実験にすることで廃液を減らし環境を考える内容

道徳：医師の国際活動について学ぶ

英語：教科書でSDG sを扱う題材があるので関連ニュースとともに学ぶ、 SDG sの説明を英語で行いポスターを作成

総合的な学習の時間：地域についての探究活動、 SDG sについて調べることで解決への意欲をもたせる内容、 タブレットのスキル学習の題材としてSDG sを取り入れた、国際教育やユニセフや JICA について学ぶ、

給食の時間：残飯をゼロにする働きかけ、フードロスについて考える

その他：修学旅行、 足尾植樹、 中学生でできるSDG sについて学校祭で発表、 自分の住んでいる地域を知る学習、 校外学習や委員会で資源ゴミ回収活動、 学校行事でペットボトルキャップアート、 SDG s すごろく

資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

**Q 12** 上記の授業や活動を行って、生徒のSDGsに対する意識や理解で感じたことを教えてください。（回答数 94 件）

[主な回答]

身近な問題と捉えることができた、 身近な問題と捉えることに悩んでいる  
理解は深まるが実践まではいかない、 小学校の学習が基礎になっている  
理解が浅い、 他教科との連携が図れた、 時間をかければ理解は深まる  
調べるだけで終わってしまう、 家庭における生徒の変容は見られない  
「持続可能」という言葉が聞かれる

**Q 13** 学校でSDGsを指導するためにはどんなことが必要だと思いますか。（回答数 119 件）

[主な回答]

- ・教員自身の理解の深まりとそのための時間
- ・事項以外の取り組み・授業指導案・実践例の提示
- ・リサイクルなどの日常の中での活動実践
- ・学校全体の教育計画や教科横断の取り組み
- ・教材や教育機器の整備、地域の企業等との連携

**Q 14** 今後、SDGsをどのように取り上げ、どのように深めさせていきたいか、お考えをお書きください。（回答数 104 件）

[主な回答]

- ・現場の改革（教えることが増えるのに予算や人員が不足、スクラップ&ビルド）
- ・カリキュラムマネジメントに位置付けること
- ・自分自身の力量を高めたい（ICTの使い方も）
- ・生徒に自分事としてとらえさせたい
- ・進路指導につながるものにしたい
- ・教材と教材研究にかけられる時間の不足
- ・世界的に取り組まなければならない

**Q 15** SDGsに関する事で何かご意見があればご記入ください。（回答数 35 件）

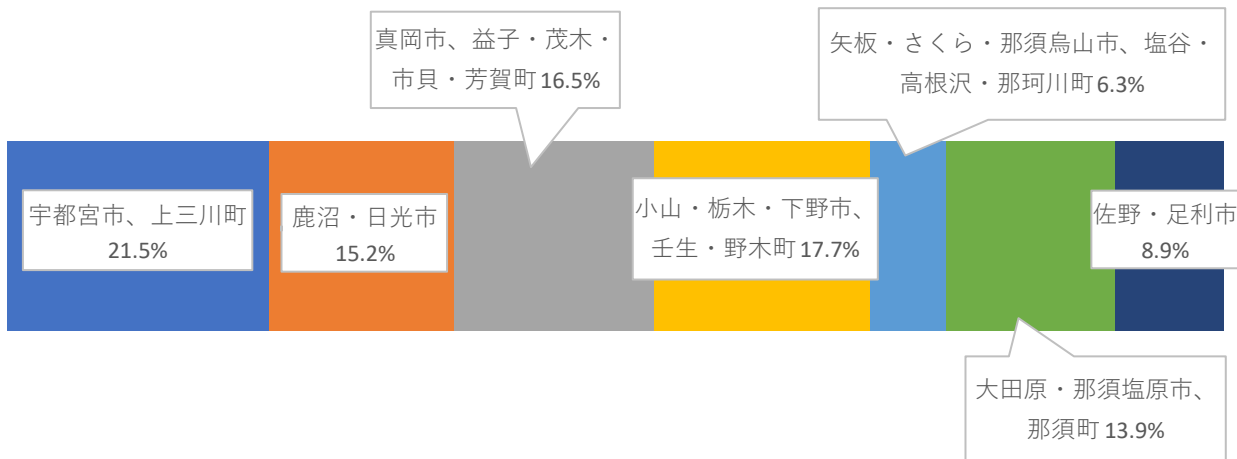
[主な回答]

- ・働き方改革を優先すべき
- ・教材研究をする時間が必要
- ・社会が、相反する様々な考えを認めている状況下で指導は難しい
- ・教育にも地域差がある
- ・うわべだけの教育にならないようしたい
- ・SDGsの取り組みには外国との差を感じる（日本の方が努力している）
- ・教員自身の理解度や本気度がまだのようだ
- ・他校の様子を知りたい
- ・研修が必要

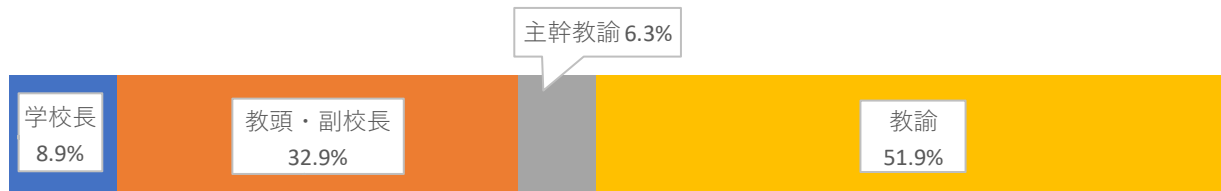
# 中学校 学校 回答

回答学校数 79 校

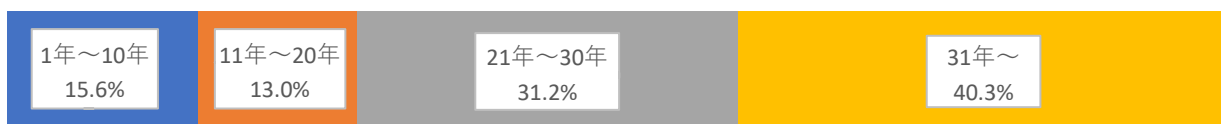
**Q 1** 御校のある地区はどこですか。



**Q 2** このアンケートにご回答いただいている方の、職名をお答え下さい。



**Q 3** このアンケートにご回答いただいている方の勤務年数をお答え下さい。



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

**Q 4** 御校ではSDGsに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。



**Q 5** 上の3の質問で「位置づけられている」と回答いただいた学校にお聞きします。位置付けられている分掌名をお書き下さい。

[主な回答]

環境教育（SDGs）、国際理解（SDGs）、人権教育、福祉教育、生徒指導、SDGsプロジェクトチーム、環境教育（SDGs推進）、地域連携教員、福祉担当、SDGs推進担当、研究主任、ESD総合的な学習の時間、生徒会

**Q 6** SDGsと学校行事を関連させた取り組みを行っていますか。



**Q 7** 上の6の質問に、「行っている」と回答された学校にお聞きします。それはどのような取り組みですか。行事名などでお答え下さい。（回答数39校）

[主な回答]

資源物・リサイクル回収、総合的な学習の時間、修学旅行・遠足  
学校祭・体育祭、生徒会活動、地域ボランティア活動、学習発表会

**Q 8** SDGsに関する内容を取り扱う場合、学校として困難な点があったらお書き下さい。（回答数37校）

[主な回答] 回答数37校

- ・準備時間が足りない
- ・カリキュラムの位置付けがない
- ・見学先・研修先がない
- ・自分事として受け止める工夫
- ・教科の偏りがある
- ・リサイクル品の送料や手数料がかかる
- ・17の目標が広すぎる、資料や理解の不足
- ・研究モデル校で時間がない
- ・既存の活動との両立
- ・深まりが難しい
- ・理論は容易でも実践が難しい
- ・特になし

**Q 9** SDG s に関する内容を扱ったことがある場合、学校としてよかった点はどんなところかお書き下さい。(回答数 43 校)

[主な回答]

- ・生徒の変容（態度・考え方・視野・意識）
- ・世界の課題が身近になった
- ・地域への意識の変化
- ・身の回りから始めるようになった
- ・先生方の意識が変わった
- ・環境への意識の変化
- ・持続可能の視点を持った
- ・ジェンダーに悩む生徒の助けになった
- ・特になし

**Q 10** SDG s の指導に関する取り組みについて、上の回答以外にご意見がありましたら、お書き下さい。(回答数 30 校)

[主な回答]

- ・活動事例を提示してほしい
- ・発達段階に応じた指導を示してほしい
- ・指導案はあるが公的で体系的なものがない
- ・国民への啓発活動が望ましい
- ・教員の負担を増やさず行うことが必須
- ・ポイントを絞って取り組む
- ・取り組みやすい教科がある
- ・教科が限定されてしまう
- ・教員の研修が必要
- ・特になし

SDGsの視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編  
高等学校

一般財団法人栃木県連合教育会

令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはおりません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。  
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

[回答結果]

小学校

回答児童数 5, 397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4, 982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1, 482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11, 922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

TEL 028-621-7216

Email [kenkyu@tochigi.rk.jp](mailto:kenkyu@tochigi.rk.jp)

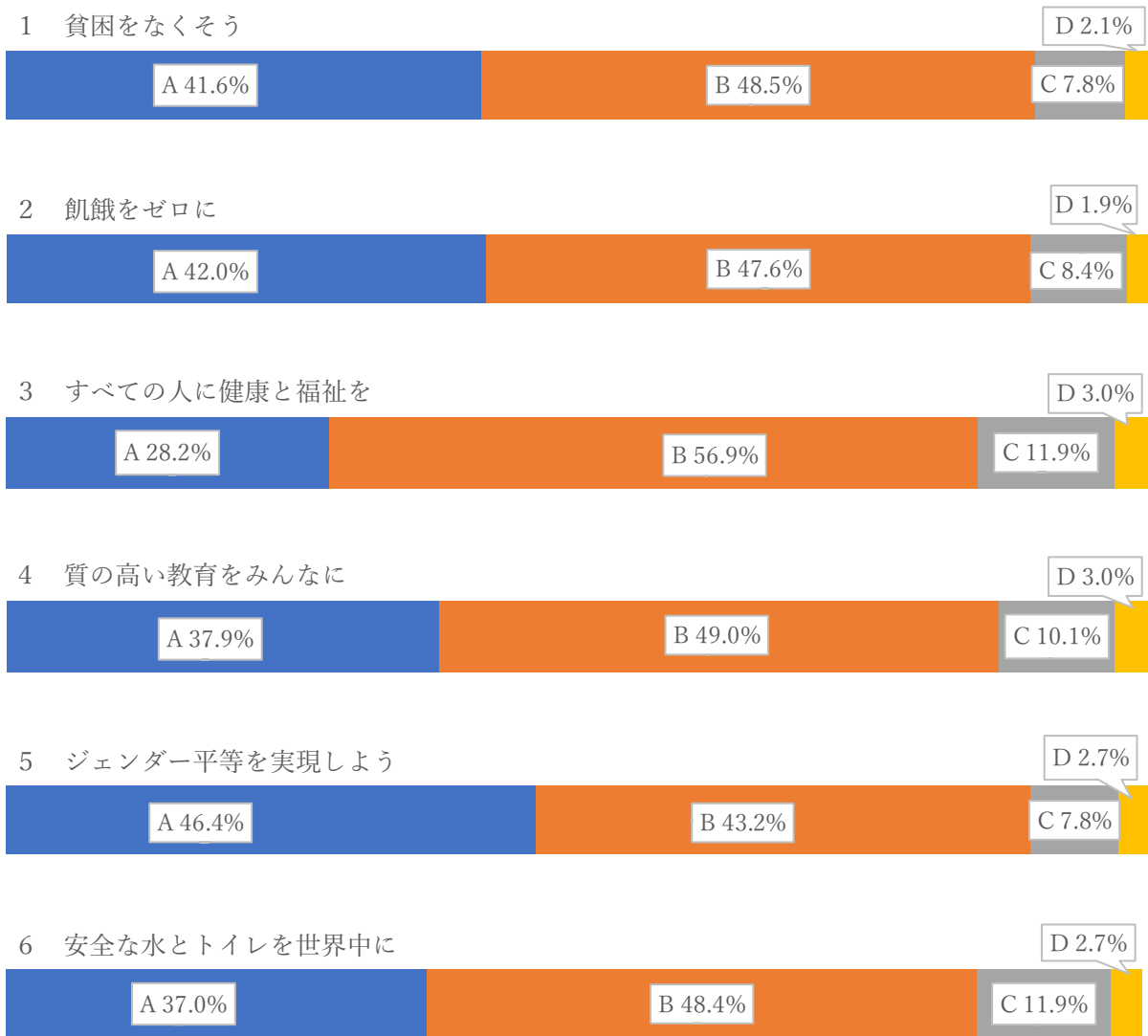
# 高等学校 生徒 回答

回答生徒数 1,482名

**Q 1** あなたの学校のある、市や町は次のうちのどこですか一つ選んでください。  
回答結果は省略します。

**Q 2** 下の1～17の目標は、SDGsで掲げられているものです。それぞれの目標について、あなたの状況はA～Dのどれですか。最も近いものにチェックを入れてください。

- A これがSDGsの目標に入っていて、どのような課題があるかも知っている
- B これがSDGsの目標に入っていることを知っている
- C このテーマがあるということを見たり聞いたりしたことがある
- D このテーマについて、今初めて知った



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

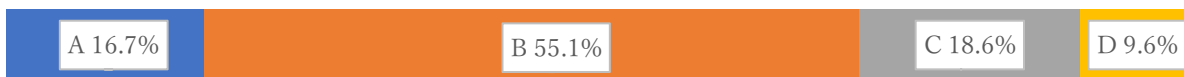
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



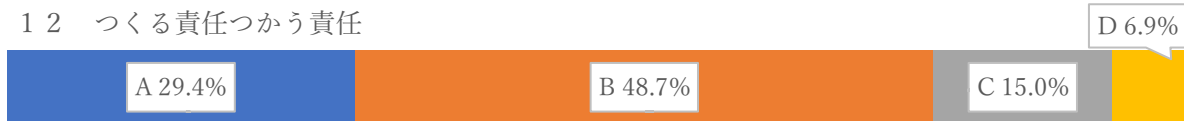
10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



**Q 3**

次にあげる用語について、あなたの状況はA～Dのどれに近いですか。最も近いものにチェックを入れてください。

- A この用語を知っていて、友人や家族に簡単に説明ができる
- B この用語を知っていて、なんとなくわかる
- C このテーマがあるということを見たり聞いたりしたことがある
- D この用語を今はじめて見た

地球温暖化



IPCC



3R



カーボンニュートラル



持続可能な開発



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

ジェンダーフリー



バリアフリー



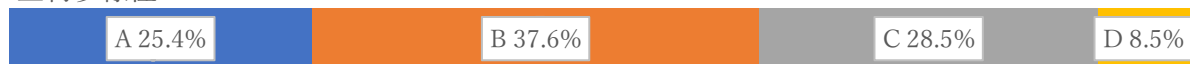
フードロス



マイクロプラスチック



生物多様性



生涯学習



クリーンエネルギー



食品ロス



フードマイレージ



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

国境なき医師団



識字率（識字＝読んだり書いたりする力）



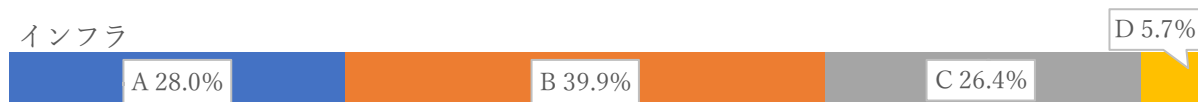
開発途上国



労働問題



インフラ



格差



**Q 4** 上の質問の中にある用語の他に、あなたが知っているSDGsに関する言葉があれば書いてください。（回答数 165 件）

[主な回答]

LGBTQ、持続可能、再生可能エネルギー、ジェンダー、貧困  
 水質汚染、地球温暖化、フードロス  
 その他（フェアトレード、オゾン層、エコバッグ、プラごみ、海面上昇  
 差別、マイノリティ）

※回答で最も多かったのは「なし」「特になし」「わからない」などの回答

**Q 5** 今の地球の住みやすさは5段階のうちどのくらいだと思いますか。  
 (1.住みにくい～ 5.住みやすい)

資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】



**Q 6** そのように考えた理由を教えてください。(回答数 1,479 件)

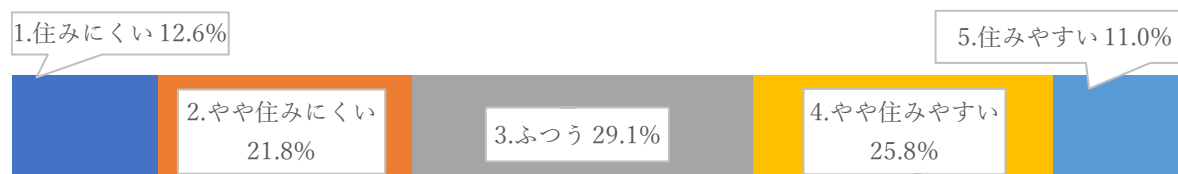
[主な回答]

住みにくい理由：地球温暖化、 災害や異常気象、 格差、 戦争、 税金が高い

住みやすい理由：技術が発達している、 今のところ不自由がない、 便利

**Q 7** 未来の地球の住みやすさは5段階のうちどのくらいだと思いますか。

(1. 住みにくい～ 5. 住みやすい)



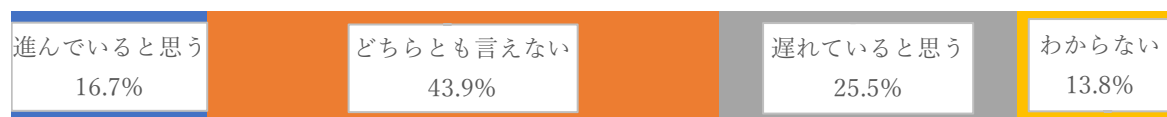
**Q 8** そのように考えた理由を教えてください。(回答数 1,479 件)

[主な回答]

住みにくい理由：地球温暖化、 環境問題、 少子高齢化、 格差、 戦争、 物価高騰

住みやすい理由：AI や技術の進歩、 SDG s の実現、 医療の発達

**Q 9** 日本のSDG s の取組みは世界の中で進んでいると思いますか。



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

**Q 10** 上の質問で、回答した選択肢を選んだ理由を書いて下さい。（回答数 1,041 件）

[主な回答]

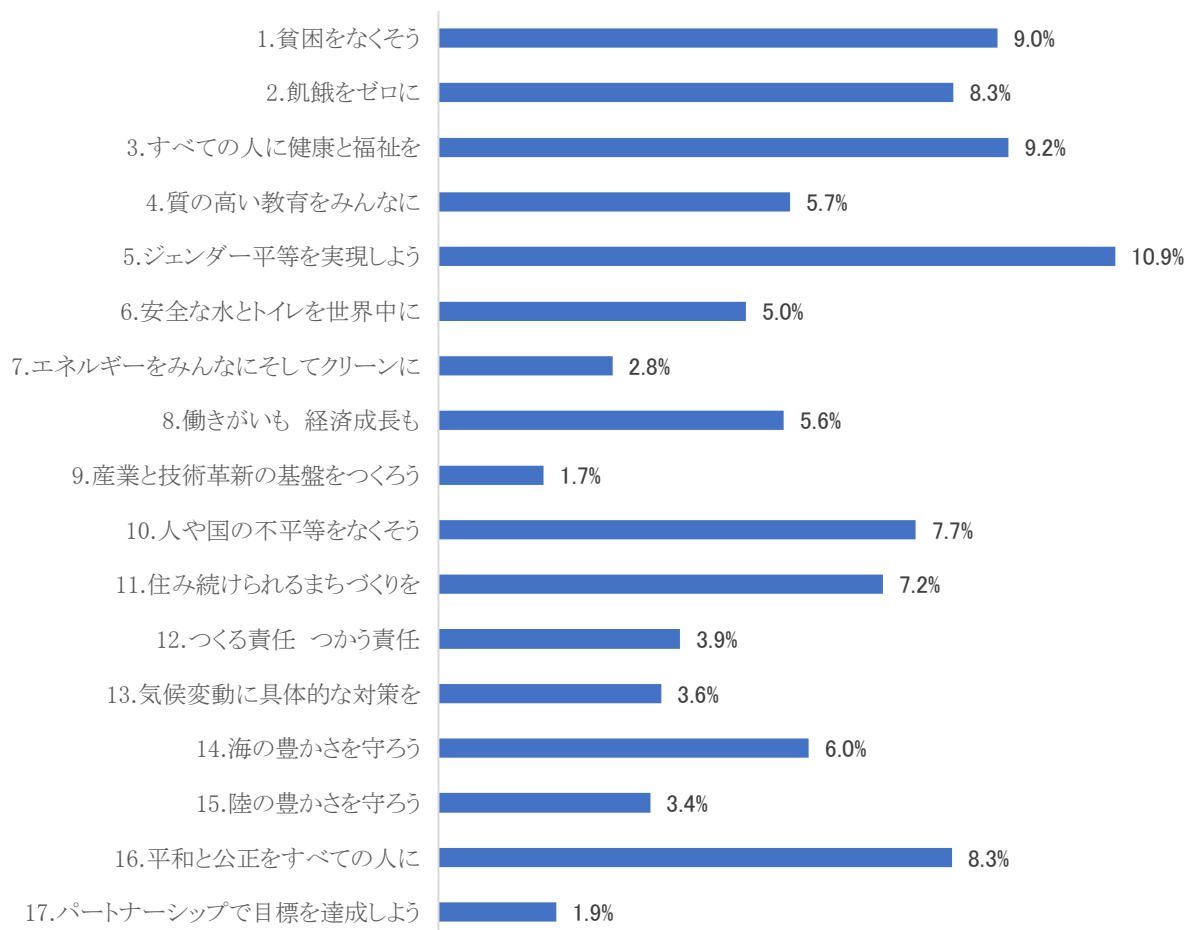
- ・他の国のSDGsの取り組み具合がわからない
- ・意識の差、実践の差が感じられる
- ・テレビやSNSでよくSDGsについて聞く
- ・ジェンダーレスやフードロスが遅れている
- ・どのくらいまでやれば達成となるのか基準が分からない
- ・SDGsに取り組んでいるお店が増えてきていると思う

**Q 11** SDGsに取り組むことで、地球の未来はどう変わるとお考えですか。最も近いものにチェックを入れてください



**Q 12** 次のSDGsの目標の中で、あなたが将来特に関わっていきたいと思う目標を選んで、チェックして下さい。（最大3つまでにして下さい。）

## 資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】



## 高等学校 教員 回答

回答数 105名

**Q 1** あなたの学校のある、市や町はどこですか。

回答結果は省略します。

**Q 2** ご担当の教科は何ですか。複数の場合主なものにチェックして下さい。

回答結果は省略します。

**Q 3** 先生の勤務年数についてご回答下さい。

回答結果は省略します。

**Q 4** 今までにSDGsを取入れた授業や活動をされましたか。



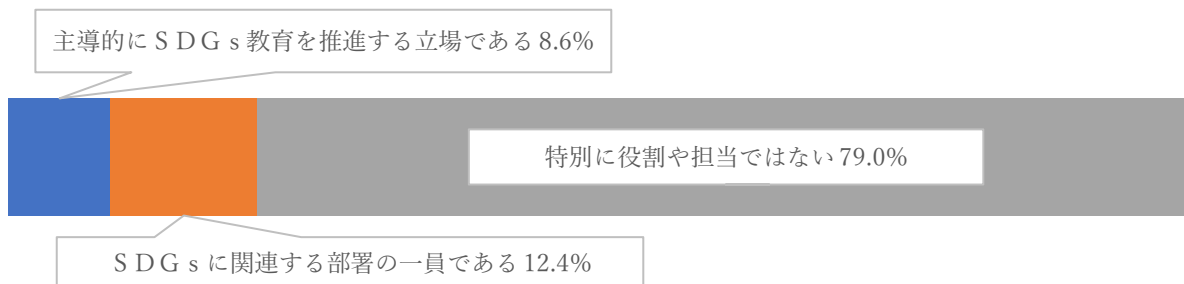
**Q 5** 上の質問で「したことがある」と回答された先生にお聞きします。それはどんな授業または活動ですか。教えてください。（回答数 41 件）

[主な回答]

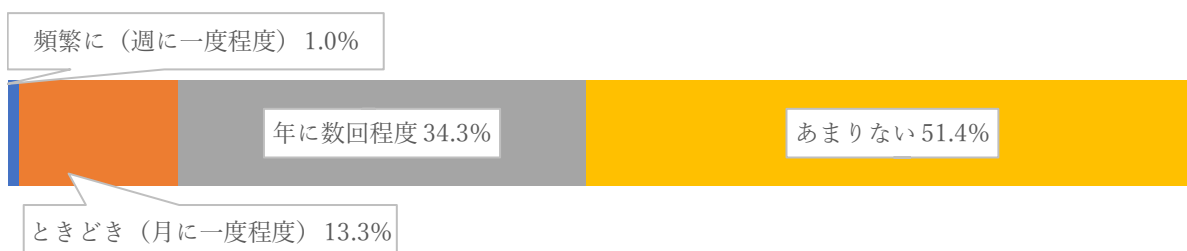
授業：総合的な探究の時間、 現代社会、 産業社会と人間、 食品流通、 保健  
地理、 ビジネス基礎、 英語、 課題研究、 小論文

活動：文化祭、 LHR、 地域の川の清掃活動、 SSHS事業の中、 古着の回収  
SDGsに取り組む企業の調査

**Q 6** 学校内でSDGsに関連する役割として次のうちどれでしょうか。



**Q 7** SDGsの目標を、授業と関連付けて扱う頻度は次のどれですか。



**Q 8** 上の質問で「頻繁に」と回答された先生にお聞きします。扱う内容を教えてください。

(回答数 1 件)

総合的な探究の時間での課題研究

**Q 9** SDGsの目標を授業以外で扱う頻度は次のどれですか。



**Q 10** 上の質問で「頻繁に」と回答された先生にお聞きします。扱う内容を教えてください。

(回答数 1 件)

家事

**Q 11** 下の1～17の目標はSDGsで掲げられているものです。それぞれの目標について、あなたの状況はA～Dのどれですか。最も近いものにチェックを入れてください。

- A これがSDGsの目標に入っていて、どのような課題があるかも知っている
- B これがSDGsの目標に入っていることを知っている
- C このテーマがあるということを見たり聞いたりしたことがある
- D このテーマについて、今初めて知った

1. 貧困をなくそう



2. 飢餓をゼロに



3. すべての人に健康と福祉を



4. 質の高い教育をみんなに



5. ジェンダー平等を実現しよう



6. 安全な水とトイレを世界中に



7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに



資料データ編【高等学校（児童・教員・学校）】

8.働きがいも経済成長も



9.産業と技術革新の基盤をつくろう



10.人や国の不平等をなくそう



11.住み続けられるまちづくりを



12.つくる責任つかう責任



13.気候変動に具体的な対策を



14.海の豊かさを守ろう



15.陸の豊かさを守ろう



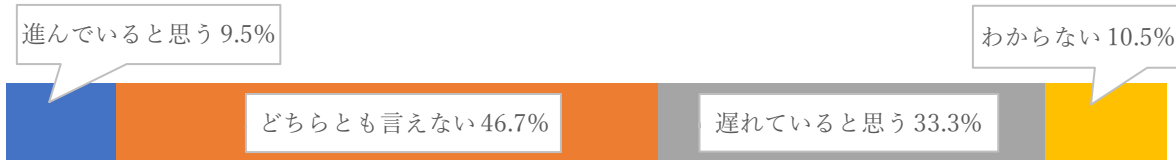
16.平和と公正をすべての人に



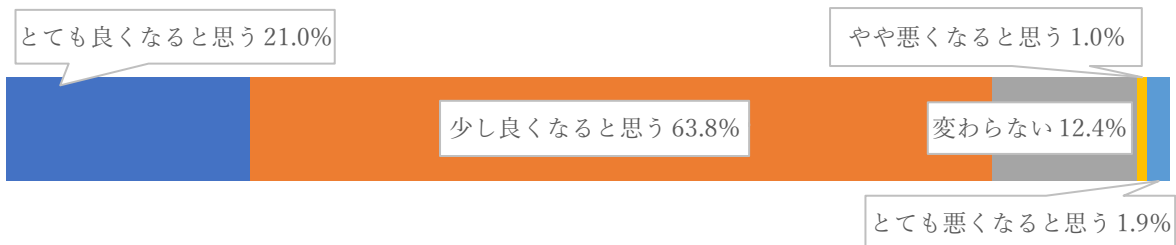
17. パートナーシップで目標を達成しよう



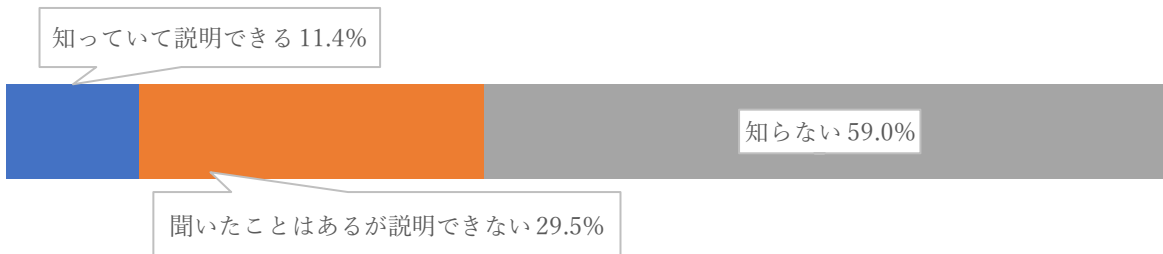
**Q 12** 日本のSDGsの取組みは、世界の中で進んでいると思いますか。



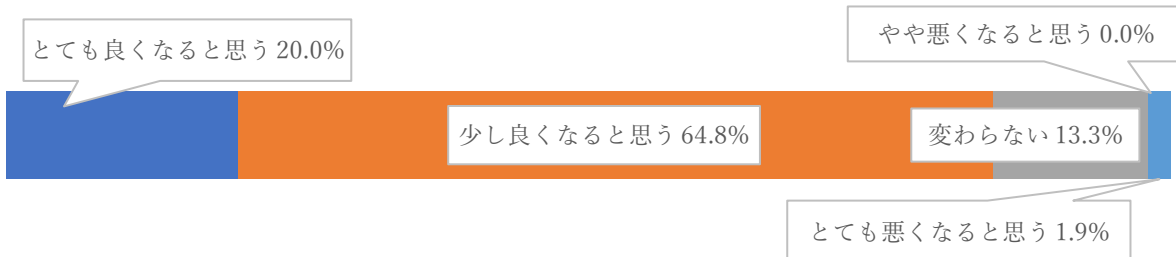
**Q 13** SDGsに取り組むことで、地球の未来はどう変わるとお思いますか



**Q 14** SDGsについてはどれくらいご存知ですか。



**Q 15** ESDは、Educational for Sustainable Development の略で「持続可能な社会の創り手を育む教育」のことです。ESDに取り組むことで地球の未来はどうなると思われますか。



## 高等学校 学校 回答

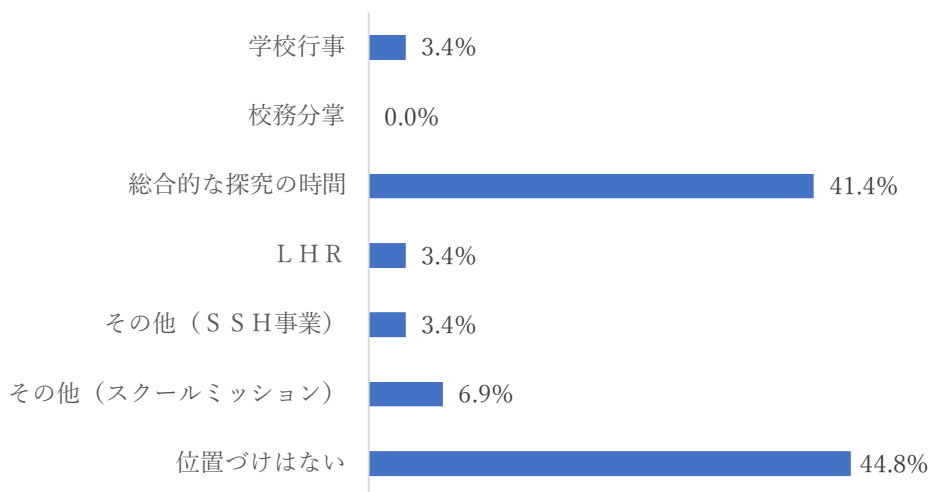
回答数 29 校

**Q 1** 御校の所在地の地区はどこですか。  
回答結果は省略します。

**Q 2** ご回答頂いている方の職名をお答え下さい。  
回答結果は省略します。

**Q 3** ご回答頂いている方の勤務年数をお答え下さい。  
回答結果は省略します。

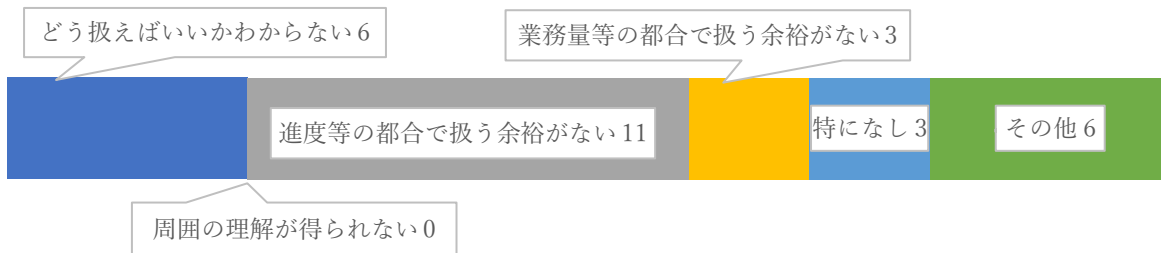
**Q 4** 御校ではSDG sに関する指導について、学校全体のどこに位置付けられていますか



**Q 5** Q4 の回答で「校務分掌」にチェックした学校の方は、分掌名をご記入下さい。  
「校務分掌」にチェックした学校はないため省略します。

**Q 6** Q4 の回答で「学校行事」にチェックした学校の方は、行事名をご記入下さい。  
(回答数 1 件)  
他の学校との交流会

**Q 7** 御校で、SDG sに関する内容を扱う場合に、学校として困難な点はどのようなことでしょうか。（数字は回答数）



**Q 8** 御校でSDG sにする内容を扱ったことがある場合、学校として良かった点はどんなところですか。（回答数 20 件）

[主な回答]

- ・ 生徒のSDG sに対する意識や取り組みに対して向上しようとする姿勢が見られた。
- ・ 環境教育や国際理解の学習に深まりが見られた。
- ・ 個人から集団を意識するようになった。
- ・ 時代とか、地球全体とかという大きな視点を持つようになった。
- ・ 地域交流を通して地域活性化の姿勢が見られた。

**Q 9** その他、SDG sの指導に関する取り組みやご意見をお書き下さい。（回答数 22 件）

[主な回答]

- ・ SDG s カードゲーム、SDG s に関する動画視聴後、新聞記事を活用し、SDG s について学習を行った。
- ・ 本校独自の探究冊子を作成し、チェンジメーカーを目指して世の中の課題解決を自分ごととして捉えている。
- ・ フードバンクボランティアや節電のお願いなど、校内外で家庭クラブが取り組んでいる。
- ・ 課題研究を進める際にご協力いただける行政機関、企業、大学、研究所等の情報がほしい。
- ・ 県内外の他校での取り組みや参考になる事例を知りたい。
- ・ 女性の自立をSDG sに関連させた授業の際、興味深く取り組んだ。
- ・ 諸外国の問題を身近に感じられるようなSDG sの事例が効果あり。
- ・ 生徒たちと今後の課題に目を向け、「粘り強さ」が大切。目に見る結果に焦ることなく、考えさせたい。
- ・ 探究活動をする前に、外部講師からの講話を依頼している。
- ・ 普段の活動がSDG sに繋がることはあると思いますが、SDG sを全面に出して学校として動くことはない。
- ・ 学校任せだと、業務に追われてなかなか実行できない。日常生活指導の中で取り入れることが効果的ではないか。
- ・ 総合的な探求の時間で扱いたいですが、生徒全員に端末の配備がなく、困難を感じる。

SDG s の視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編  
特別支援学校

一般財団法人栃木県連合教育会  
令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはありません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また、自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。  
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

回答結果

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

TEL 028-621-7216

Email [kenkyu@tochigi.rk.jp](mailto:kenkyu@tochigi.rk.jp)

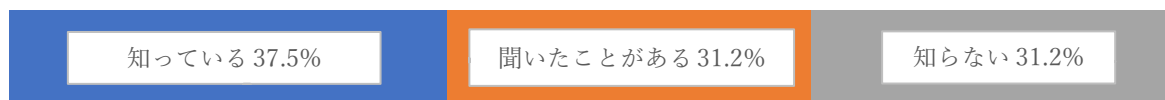
## 特別支援学校 児童・生徒 回答

※ 小学部・中学部・高等部いずれも学校名や学部・学年などの質問・回答は省きました。

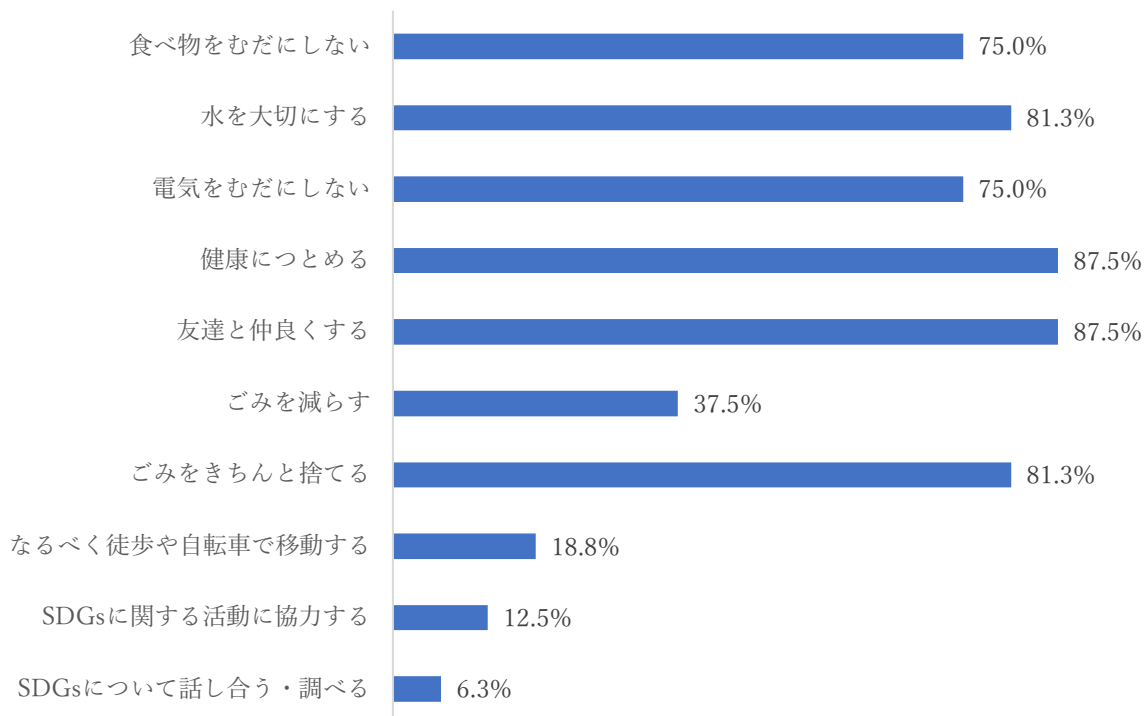
小学部

回答者 16名

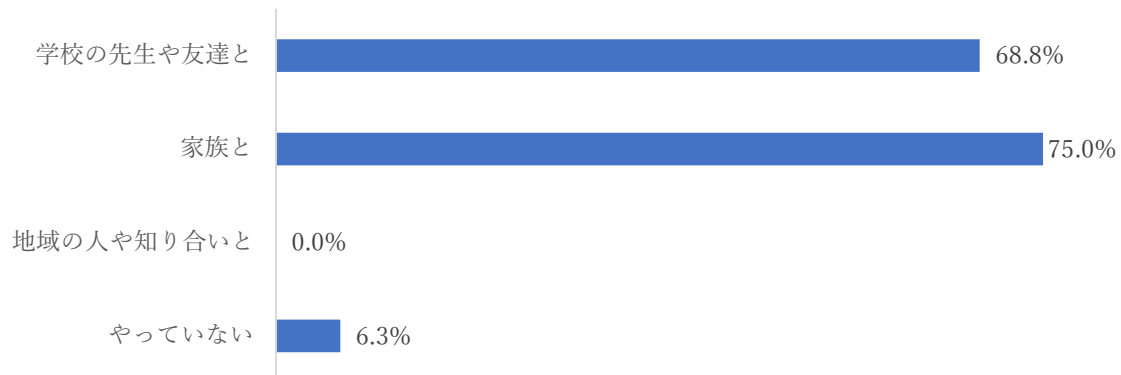
Q4 SDGsという言葉を知っていますか。



Q5 SDGsのとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



**Q 6** SDG s のとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。  
(複数回答可)



**Q 7** SDG s のとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



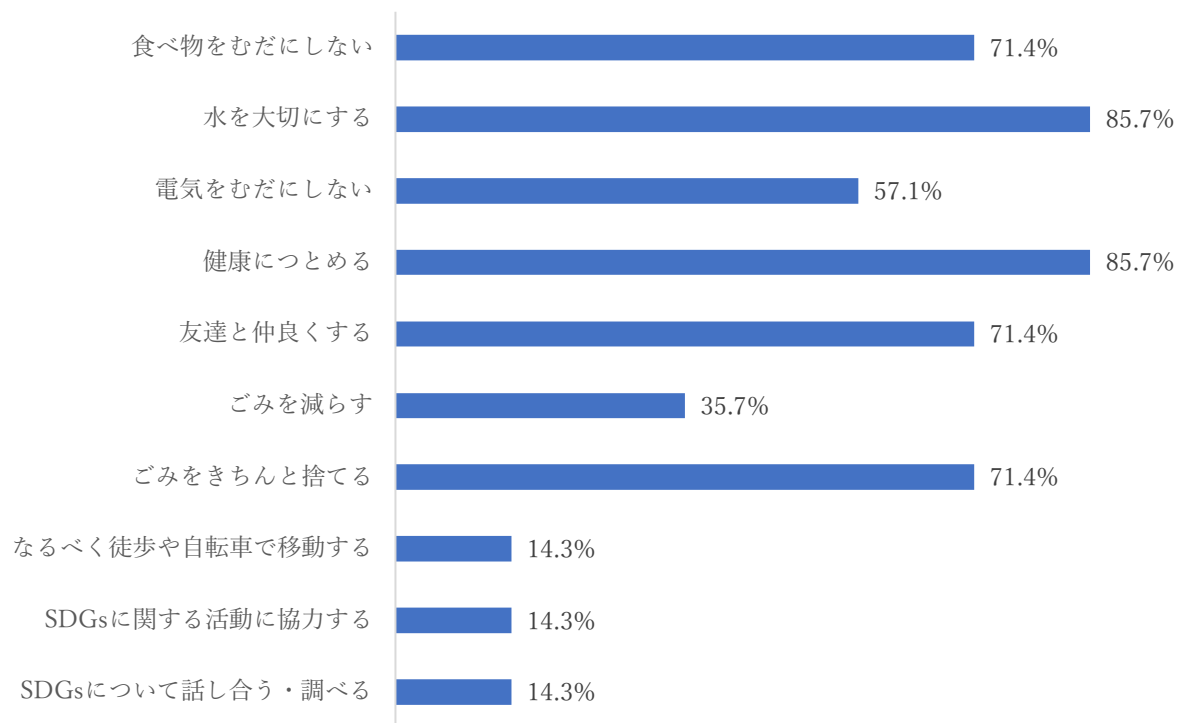
**中学部**

回答者 14名

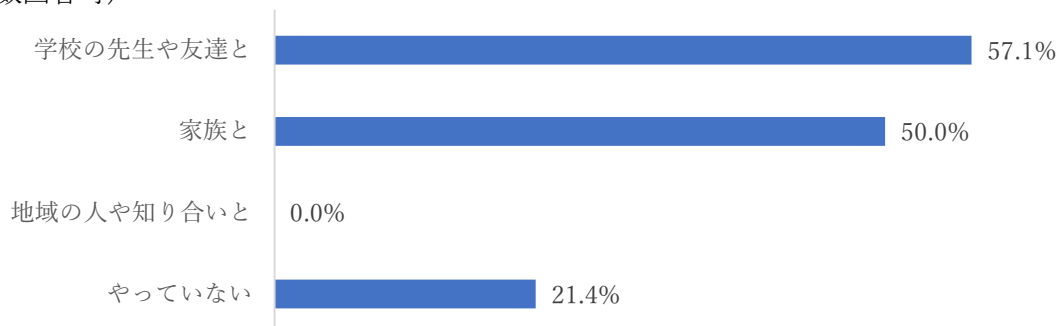
**Q 2** SDGsという言葉を知っていますか。



**Q 3** SDGsのとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



**Q 4** SDGsのとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

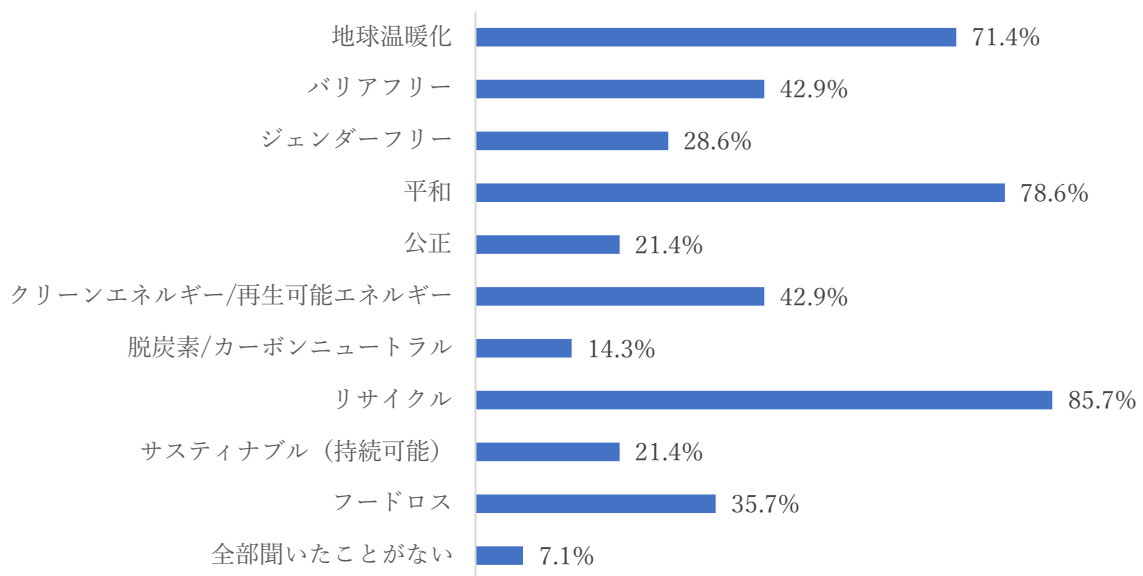
**Q 5** SDGsのとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



**Q 6** あなたは地球の未来が心配になることがありますか。



**Q 7** 次の言葉で聞いたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



**Q 8** 今、自分が住んでいる市や町は住みやすいですか。



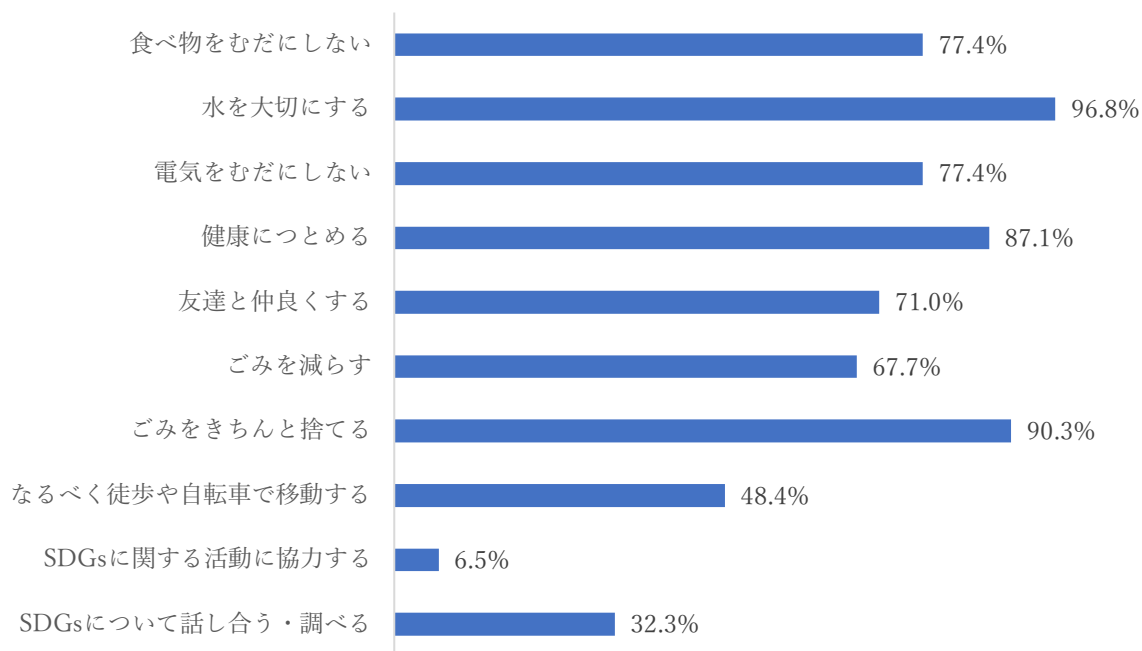
回答者 31名

高等部

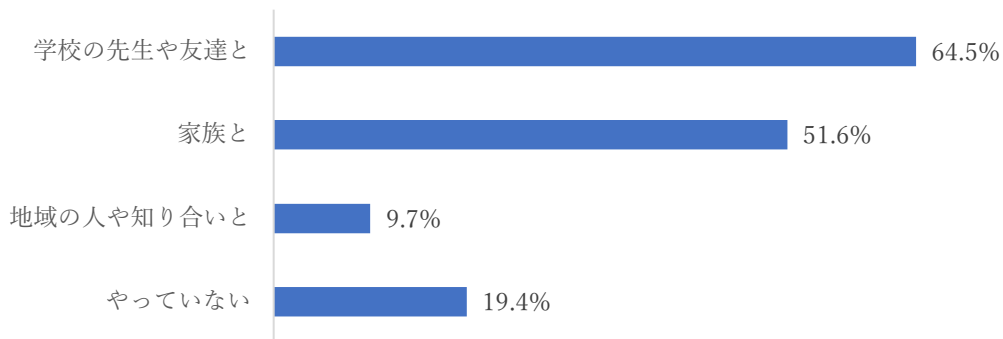
Q 2 SDGsという言葉を知っていますか。



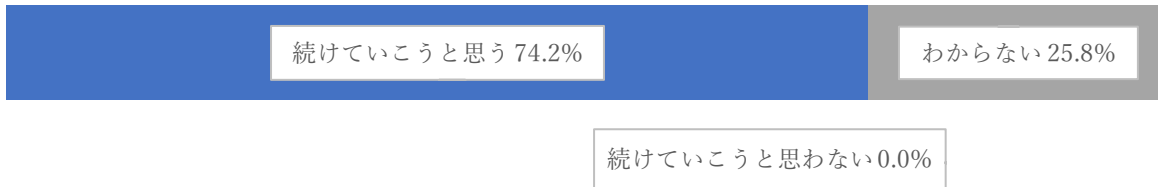
Q 3 SDGsのとりくみで、あなたがやったことのあるものはどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



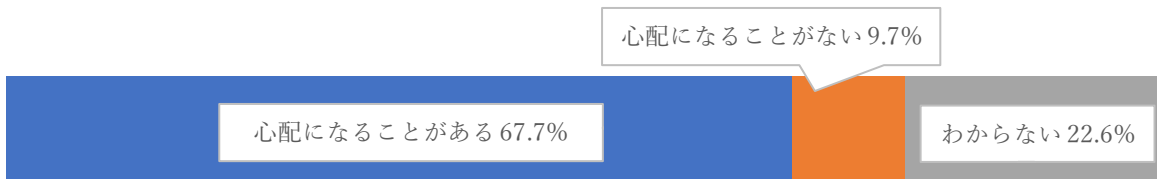
Q 4 SDGsのとりくみは、だれとやっていますか。あてはまるものすべてを選んでください。（複数回答可）



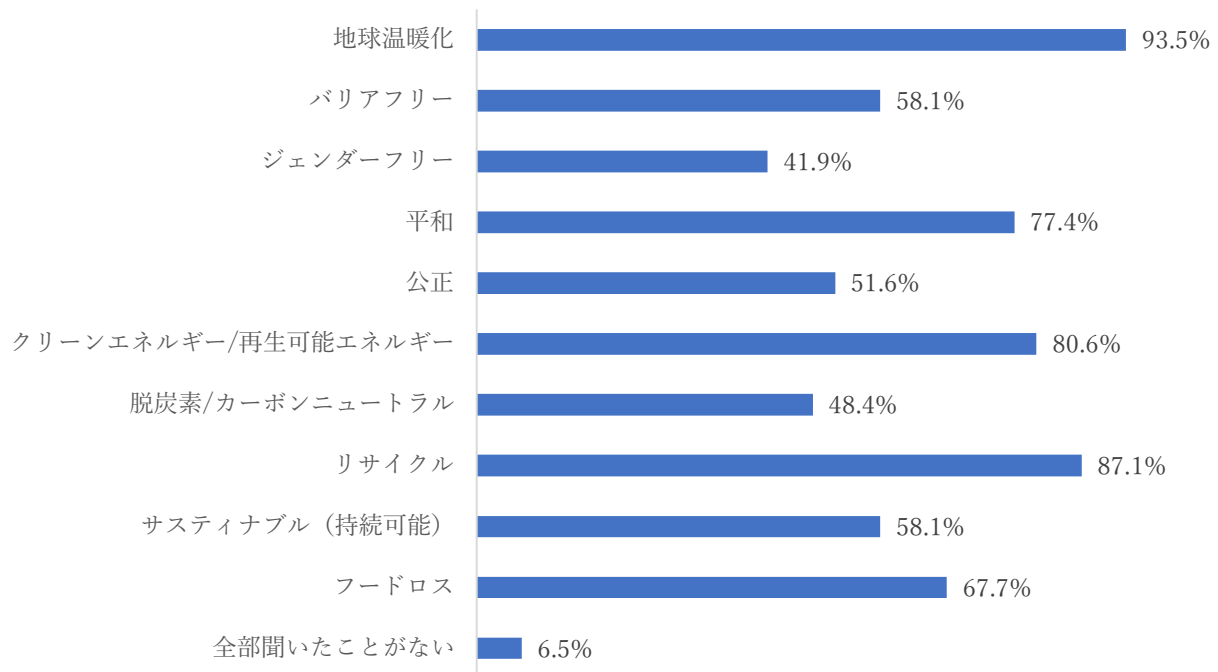
**Q 5** SDG s のとりくみをこれからも続けていこうと思いますか。



**Q 6** あなたは地球の未来が心配になることがありますか。

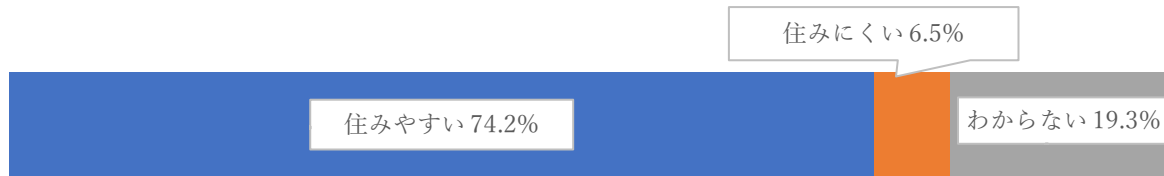


**Q 7** 次の言葉で聞いたことがあるものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）



資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

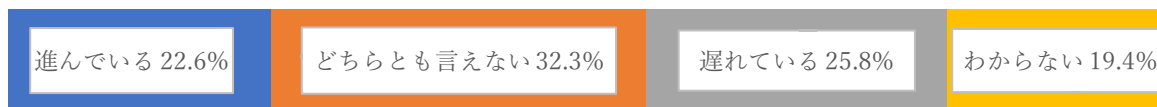
**Q 8** 今、自分が住んでいる市や町は住みやすいですか。



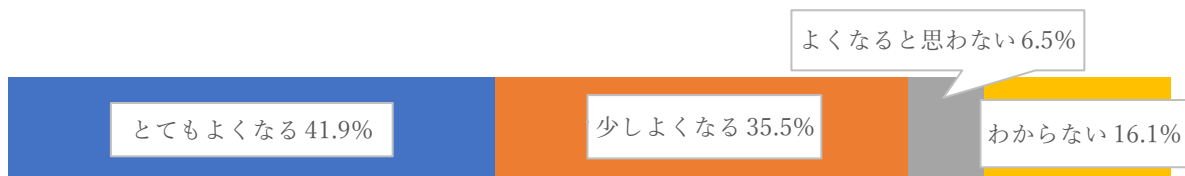
**Q 9** あなたが 60 歳になった未来に、今住んでいる市や町はどうなっていると思いますか。



**Q 10** 日本のSDGsのとりくみは、世界の中で進んでいると思いますか。



**Q 11** SDGsにとりくむことで、未来はよくなると思いますか。



# 特別支援学校 教員 回答

回答者 30名

**Q 1** 学校名をご記入ください。  
回答結果は省略します。

**Q 2** 担当する学部を教えてください。



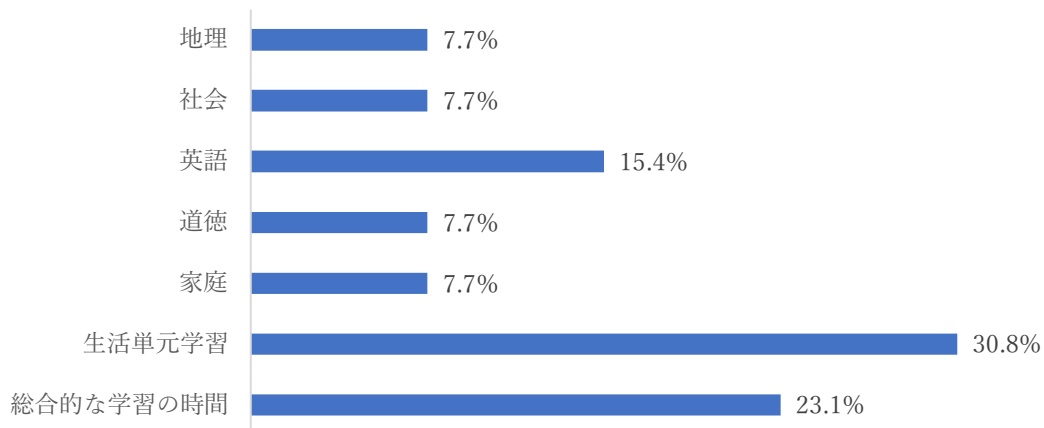
**Q 3** SDGsについてどれくらいご存知ですか。



**Q 4** SDGsを授業で扱っていますか。



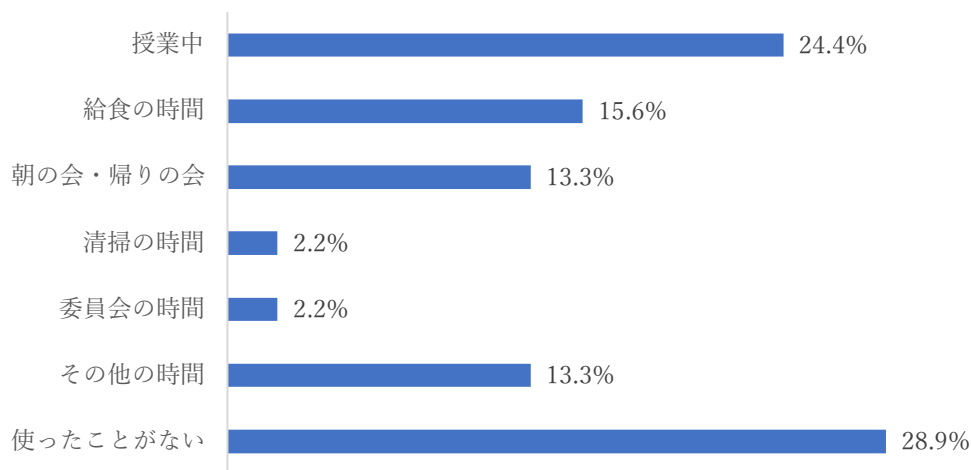
**Q 5** どの教科、授業で扱っていますか。



**Q 6** SDGs を授業で扱う頻度はどれくらいですか。



**Q 7** 学校で児童・生徒に「SDGs」という言葉を意図的に使ったことがありますか。それはどのような場面ですか。あてはまるものすべてにチェックしてください。（複数回答可）



**Q 8** 学校でSDGsを指導するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

[主な回答]

- ・教員の働き方改革を進め、生徒に胸を張ってSDGsの取り組みをしていると示せるようにする。その為にも古い考えにとらわれない教員の意識改革が重要。
- ・教員、児童生徒ともに、住みやすい世の中にしていこうとする意識
- ・普段からの意識づけ
- ・正しい知識
- ・自身の理解
- ・身近な実践とSDGsのつながりを伝える
- ・SDGsの内容を理解させ、日常にかかわっていることを伝える
- ・身近なこととして、生徒の生活に関連付けて扱う。
- ・自身がSDGsについて正しい知識を身に付けること。
- ・SDGsや世界の状況について教員が十分に理解しておくこと
- ・学習活動の中で、SDGsに当てはまる取り組みを実際に経験する機会を増やしていくとともに、現在の指導の中で、SDGsに該当するものを確認して指導の重要性を認識できるようにする。
- ・SDGsを授業内容に組み込むこと
- ・普段からSDGsに関する事象に遭遇したときに話題にすることが必要。そのためにSDGsの項目について教員が知っておく必要がある。
- ・日常的に取り組めるような簡単で分かりやすい事例を取り上げること。
- ・物を大切にするなど、SDGsに関する姿勢や態度を児童の前で意識的に示すこと

## 資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

- ・教師がSDGsについて学び理解を深め、身の回りの実践例を見つけ、児童生徒に指導や教材で伝えていくこと。
- ・教員が意識をする、意識を高めておくことが必要。
- ・学校でできる(指導できる)SDGsについて教員が理解すること
- ・SDGsの正しい知識やどうすればよいかを考えるための力が必要
- ・児童が普段行っている活動や学習の中でもSDGsが関連していることがあることを意識させること。
- ・聴覚障害に起因する語彙の不足を解消するとともに、指導者側が意識的に語句を使って行くことが必要だと思う。
- ・SDGsについて先生が知識をもつこと。
- ・教師自身がSDGsへの理解を深め、幅広い視点から指導を行えるようにする。
- ・SDGsについて知ること
- ・環境問題を知り、身近なものと結びつけて考える時間を設けること。
- ・まずは教員がSDGsについて知識を深める必要があると思います。
- ・SDGsとは何か、といった初歩的な内容からの教員向けの研修。
- ・児童・生徒へ継続的な情報提供と意識啓発のため、関係機関と連携できる体制が必要
- ・様々な教科の単元の内容自体で扱うことが必要だと思います。
- ・教員が意図的に取り上げる。誰でも取り上げることができるようにするための資料などが多数あると、実態に応じて取り上げやすいと思う。

**Q9** 今後SDGsをどのように取り上げ、どのように進めていきたいですか。

思いや考えがあればお書きください。

[主な回答]

- ・授業資料の見直しや電子化を図る。そのためにはパートナーシップなどが大切。小さなことも全てがSDGsに繋がっていき、地球の環境保全になることを理解し、思いやりの気持ちを育てたい。
- ・SDGsは範囲が広いので、ポイントを絞って取り上げていきたい。
- ・身近な問題として捉えられる工夫をしたいと思います。
- ・子供たち自身が主体的に考えて行動できるように、継続して取り上げていく。
- ・教師や生徒同士で話し合う。
- ・生徒に対して、自分の将来のこととして捉えてもらえるよう、進路指導と関連付けて伝えていきたい。
- ・生徒の生活に基づいている分野から取り上げ、生徒にもできることを具体的に上げていきたい。
- ・もし、SDGsについて取り上げるのなら、学校全体で行えるといいかと思います。子どもたちや教職員には、「特別なことをしなくてはいけない」と考えている人もいるかなと思います。そのことを浸透させつつ、今行っている授業や学校行事、各校務分掌部に関連したSDGsの目標(項目、分野)を関連づけていけたら、と考えています。
- ・児童にとってSDGsという用語、概念は難しいため、SDGsに当てはまる取り組みを推進することの大切さを伝えられていけたらと思います。
- ・身近な話題でないと興味関心がわかない傾向にあるので、身の回りで起こることを中心に取り上げて自分にはどうすることができるのか、という学習展開をしていきたい。
- ・動画等で児童に分かりやすいように取り上げていく。
- ・小学部だが、家庭科を受けもっているため、授業の中で触れられればと考えている。また、児童の中には、海の生物等に興味関心をもっている児童もいるため、折に触れて話ができるとうい

## 資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

思っている。

- ・改めてSDGsということではなく、水や電気など普段の生活でできることをその都度繰り返し伝えていこうと思います。
- ・分かりやすい言葉で分かりやすい例を挙げて取り上げていきたい。
- ・作業学習（リサイクル班）などで、自然環境や資源を守る大切さを、視覚支援を用いてわかりやすく授業で取り入れ、実践していきたいと思う。
- ・SDGsの項目はどれも大切な内容なので、いろいろな場面で話題にしていきたい。
- ・地域や社会との連携を通じて廃品リサイクルや地域清掃活動などSDGsの実践を深めていきたい。
- ・SDGsの話題をとおして、他校等と交流活動ができるとよい。
- ・生徒が自分事として、自分でできることを考え、実践できるように意識や行動の変容につなげられたら良いと思う。

**Q 10** 日本のSDGsの取り組みは、世界の中で進んでいると思いますか。



**Q 11** 上の質問で、その答えを選んだ理由についてお聞かせください。

### 「進んでいると思う」と答えた方

- ・教育番組等でも取り上げられているから。
- ・様々なところで話題となっているため。
- ・様々な場面で啓発資料を目にするから。
- ・情報が世界に広まり、具体的な取り組みの方法なども共有することができるようになってきているから。

### 「どちらとも言えない」と答えた方

- ・進んでいる分野と遅れている分野があると感じる。
- ・SDGsの取り組みへの評価が十分ではない。
- ・実際をよく知らない。
- ・意識と取り組みに個人差、地方による格差がある。
- ・SDGsの考え方・取り組みは各国によって差があると思います。それを考えると、安易に日本が進んでいる・遅れているとは言い難いのではないかと考えたからです。ただ、日本の歴史を振り返ると、物を大切に使う、再利用するという文化が江戸時代頃から（分野によっては、さらに前から）根付いていて、SDGsの考えや取り組みが今に始まったことではないと考えます。このような視点に立って考えると、どちらとも言えません。
- ・少しずつ進んでいると思うがまだ改善の余地があると思われるから理解度や取り組み方に

## 資料データ編【特別支援学校（児童・教員・学校）】

個人差があると思う。

- ・世界と比べたことがない。
- ・近年、目にすることも、耳にすることも増えたようには感じるが、世界の中でという点で考えると、悩ましい。
- ・企業レベル、個人レベルでできることはやっているが、全体として十分にはSDGsの理解を共有できていないと感じるため。
- ・よく耳にする機会はあるが、実際の取り組みはそこまで進んでいるように思えないから
- ・SDGsのロゴマークを見かけることがあるが、自分自身も含めてSDGsを意識することがあまりないため。
- ・学校の中でも、詳しい教員が少ないと思われるため。
- ・できていない項目がある。
- ・政府主導でSDGsの実現に向けた取組をしていると思うが、他国の動向を知る機会が少ないため。
- ・進んでいるかどうか分かる情報がありません。

### 「遅れていると思う」と答えた方

- ・電子データで済む資料の多さ、効率化が図られないためにずっと学校で残業をする教員、税金である光熱費や設備費浪費への意識が低い。
- ・ひとりひとりの意識のなさ。
- ・他国と比較してマイバッグの浸透率が低いことなど
- ・外国と比べて、すぐに消費してしまう農作物の規格が厳しかったり、商品のきれいな包装は当たり前だから。
- ・頭では分かっているけど、実際に変えていくことには時間がかかりそう。
- ・特別支援学校において学校現場で指導するのが、難しいと思う。
- ・SDGsというワードは、ここ数年で普及してきていると思うが、その単語ばかりに注目がいって肝心の中身、例えば各項目で掲げている目標については多くの人知らない状況にある。
- ・SDGsという言葉に関して3年前に初めて聞いた。少しずつSDGsの取り組みについて学校や、飲食店、企業などで情報が発信されるようになってきたが、世界と比べるとまだ遅れていると感じる。
- ・こういった調査が必要なくらい、まだまだ考えや取り組みが浸透しているとは思えないから。

### 「わからない」と答えた方

- ・比べることが難しい。
- ・比較したことがないから。

**Q 12** 今SDGsに関する事で何かご意見があればご記入ください。

[主な回答]

- ・自分にもできる身近な行動を知り、生徒に伝えたり、授業で取り上げてみたい。
- ・特別支援学校における具体的な指導事例が共有できると良い。
- ・大切な内容なので、もっと授業等で扱えるとよい。誰でも使えるコンテンツが増えていくとよい。

## 特別支援学校 学校 回答

回答校 8校

※ Q 1、Q 2、Q 3 の回答は省きました。

**Q 4** あなたの学校では、SDGsに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。  
8校の全て「位置付けられていない」と回答。

**Q 5** 位置付けられている分掌名をお書き下さい。  
「位置付けられている」の回答校が無いため省略。

**Q 6** SDGsと学校行事を関連させた取り組みを行っていますか。



**Q 7** それはどのような取り組みですか。行事などでお答えください。

[主な回答]

- ・「つくる責任 つかう責任」と関連して、給食感謝の会を実施している
- ・奉仕活動
- ・修学旅行

**Q 8** SDGsに関する内容をあなたの学校で扱う場合、学校として困難な点があったらお書きください。

[主な回答]

- ・重度重複の児童生徒が多く、どんなことを、どのように指導すべきであるか、検討していく必要がある。
- ・小学部から高等部までであるため、児童生徒の実態に即した活動が難しい。

**Q 9** SDGsに関する内容をあなたの学校で扱ったことがある場合、学校として良かった点はどんなところかお書きください。

[主な回答]

- ・特別な時間を設定したわけではないが、係の仕事として教室を出る際に電気を消すことや水を出しっぱなしにしないことなど、生活の中で学ぶことができています。
- ・学部の行事ではあるが、植樹の際に森の大切さについて講話をいただくことで、環境を守る意識が高まった。
- ・牛乳パックのリサイクルや空き缶のリサイクルなど作業学習と関連して学ぶことができた。
- ・児童、生徒が社会の一員として生きるための、ひとつのきっかけになること。

**Q 10** SDG s の内容の指導に関する取り組み全体について、ご意見がありましたらお書き下さい

[主な回答]

- ・特別支援学校で取り組んでいるSDG s の指導の状況を知り、本校でも取り入れられる部分を検討していきたい。
- ・授業への活用例について研修等があると良い各校の取組を参考にしながら、本校で実践できることを検討していきたいと考えている。
- ・先進的な取組があればそれを参考に実施したい。障害種にあった実践を知りたい。
- ・本校でも地域とのゴミ拾いや生徒会のリサイクル活動、重複障害学級におけるリサイクル関連の作業などSDG s に関連する取組は複数行われているが、SDG s の視点からの学習活動であるという教員側の意識が十分でなく、SDG s と関連させていると言えない現状がある。
- ・児童生徒の興味関心は知ることから広がっていくと思うので、まずは教員側の意識を高めることが必要であるように思う。

一般財団法人栃木県連合教育会  
研究紀要 第156集

「SDGsの視点からの学習活動研究部会」  
—児童生徒・教職員・学校へのアンケート調査結果から—

発行日 令和6（2024）年9月  
発行者 （一財）栃木県連合教育会  
発行所 同上  
〒320-0066  
栃木県宇都宮市駒生1-1-6  
TEL 028-625-5228  
FAX 028-625-5224  
E-mail kenkyu@tochigi-rk.jp